

資 料

- 1 実態調査（抜粋資料）
- 2 用語解説
- 3 計画策定経過
- 4 策定委員会

1 実態調査

○この資料は、令和5年9月及び10月に実施したアンケート調査を再構成したものです。

第1章 調査の概要	53
1. 調査の目的	53
2. 調査票の設計	53
3. 調査票の種類	53
4. 調査の方法および回収状況	54
5. 報告書の見方について	54
第2章 在宅介護実態調査結果	55
1. ご本人の状況について	56
2. 主な介護者の状況について	64
第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	66
1. 調査票に記入された方とご本人について	67
2. ご家族や生活状況について	71
3. からだを動かすことについて	79
4. 食べることについて	91
5. 毎日の生活について	101
6. 地域での活動について	119
7. たすけあいについて	129
8. 健康について	142
9. 認知症にかかる相談窓口の把握について	151
10. リスク判定	153

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本町では現在、高齢者のための施策を総合的にかつ計画的に推進していくため、高齢者保健福祉・介護保険事業計画の見直しを進めております。

この調査は、高齢者の意識、生活実態、介護環境等を調査するとともに、介護している家族の生活実態や抱える問題等を調査し、日常生活や地域における課題、サービスの利用状況、ニーズ等を把握し、計画を策定する上での基礎資料とすることを目的に実施いたしました。

2. 調査票の設計

アンケート調査票は、厚生労働省が示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に、本町が必要と判断した設問を加えて作成しました。

3. 調査票の種類

調査票は2種類の調査票を活用しました。主な項目は以下のとおりです。

【在宅介護実態調査】

- (1) 基本調査項目
- (2) 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- (1) 調査票を記入された方とご本人について
- (2) ご家族や生活状況について
- (3) からだを動かすことについて
- (4) 食べることについて
- (5) 毎日の生活について
- (6) 地域での活動について
- (7) たすけあいについて
- (8) 健康について
- (9) 認知症にかかる相談窓口の把握について
- (10) リスク判定

4. 調査の方法および回収状況

この調査の対象者は令和5年9月1日現在、町内にお住まいの65歳以上の方及びそのご家族の方（施設入所者は除く）を対象に実施いたしました。在宅の要介護1～5認定者の方は「在宅介護実態調査」、一般高齢者及び要支援1・2認定者の方は「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に回答いただきました。

調査の方法および回収状況は以下のとおりです。

	調査票 配布数	回収数	回収率	有効票数	有効票数 回収率
全 体	500 件	326 件	65.2%	326 件	65.2%
在宅介護実態調査	50 件	40 件	80.0%	40 件	80.0%
介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	450 件	286 件	63.6%	286 件	63.6%
調 査 方 法	訪問調査及び郵送による配布・回収				
調 査 期 間	令和5年9月15日～10月13日				

5. 報告書の見方について

報告書を理解する上で、次の点に留意する必要があります。

- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を示します。
- (2) 調査結果の比率は、nを基数として比率を算出し、小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで示しました。したがって、すべての選択肢の比率を合計しても100%にならない場合があります。また、比率が0%または100%の場合は、小数点以下の表示を省略した場合があります。
- (3) 複数回答の設問においても、nを基数として比率を算出しているため、すべての選択肢の比率の合計は、通常100%を超えます。
- (4) グラフ中の0.0%表記を省略しているものがあります。
- (5) 単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとし、棒グラフにおいては、割合の多い項目から降順となっています。
- (6) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果には、性別、年齢別、要介護状態区分別の表を載せています。なお、表中の網掛けは、横の層で見ても割合が多い項目です。
- (7) 要介護状態区分の、「要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者」は、「総合事業対象者」に省略してあります。
- (8) 問の中には「～と回答した方にお伺いします。」などいろいろな制限があり、回答者数が少なく有意性が低いものもあります。また、「その他」等具体的な回答内容を含まない選択肢については、コメントでは除外している場合もあります。

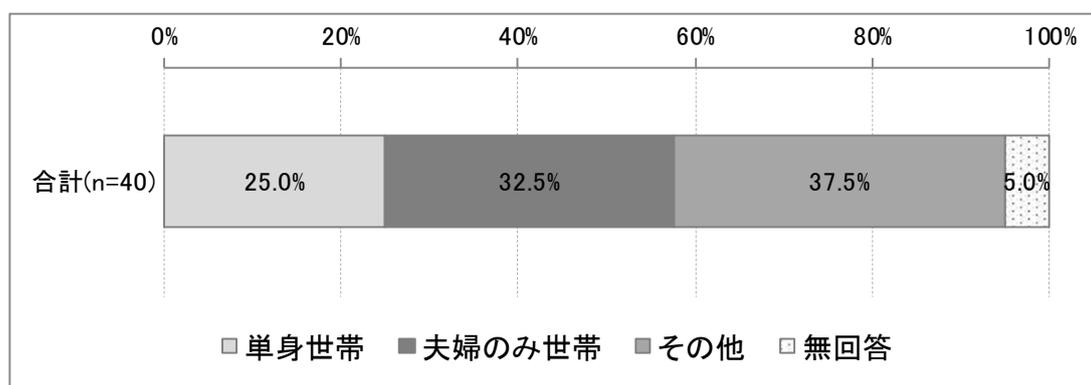
第2章 在宅介護実態調査結果

1 基本調査項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

「その他」の割合が最も高く37.5%となっている。次いで、「夫婦のみ世帯（32.5%）」、「単身世帯（25.0%）」となっている。

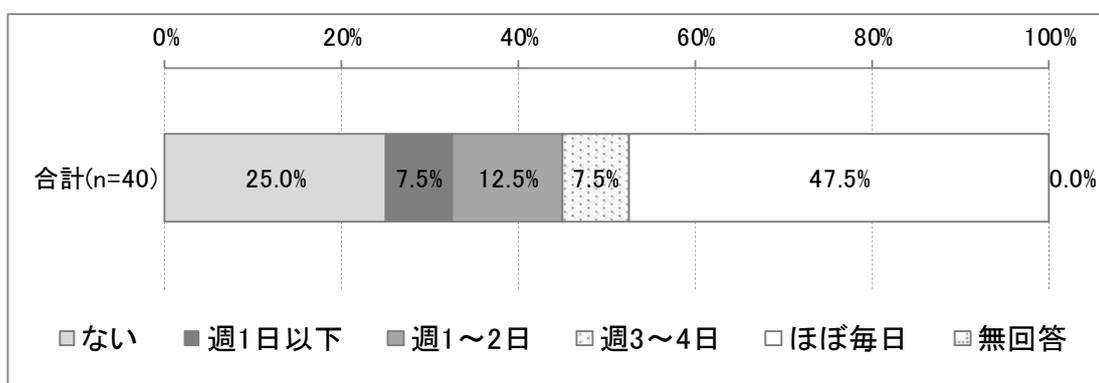
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

「ほぼ毎日」の割合が最も高く47.5%となっている。次いで、「ない（25.0%）」、「週1～2日（12.5%）」となっている。

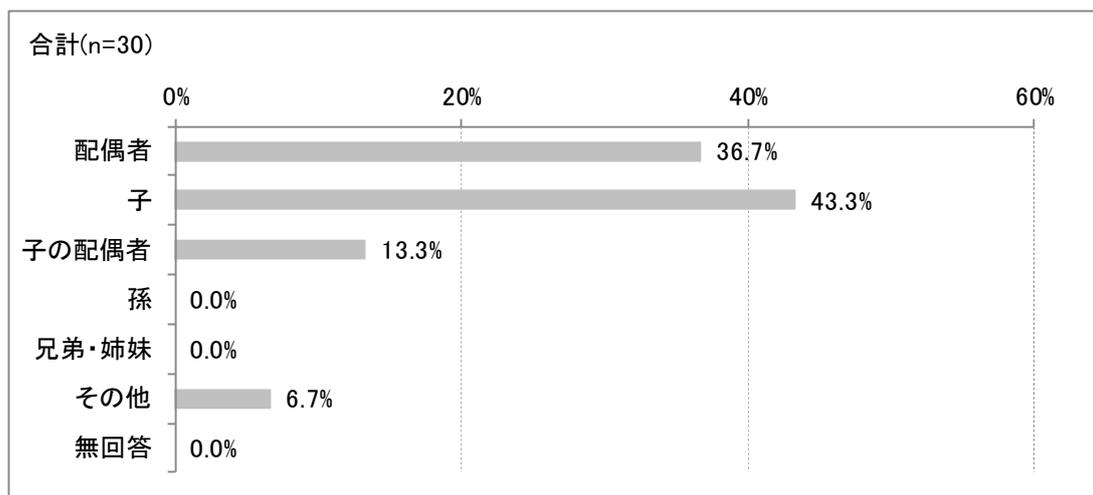
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

「子」の割合が最も高く 43.3%となっている。次いで、「配偶者（36.7）」、「子の配偶者（13.3%）」となっている。

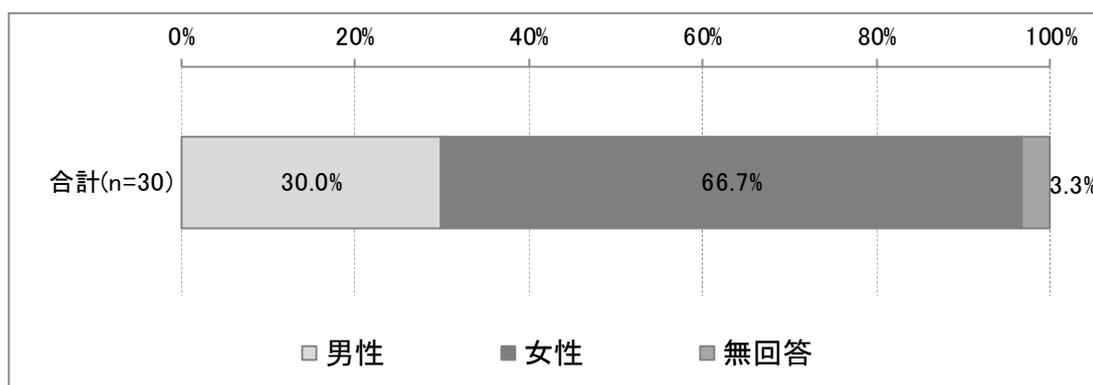
図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係（単数回答）



問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

「女性」の割合が最も高く 66.7%となっている。次いで、「男性（30.0%）」となっている。

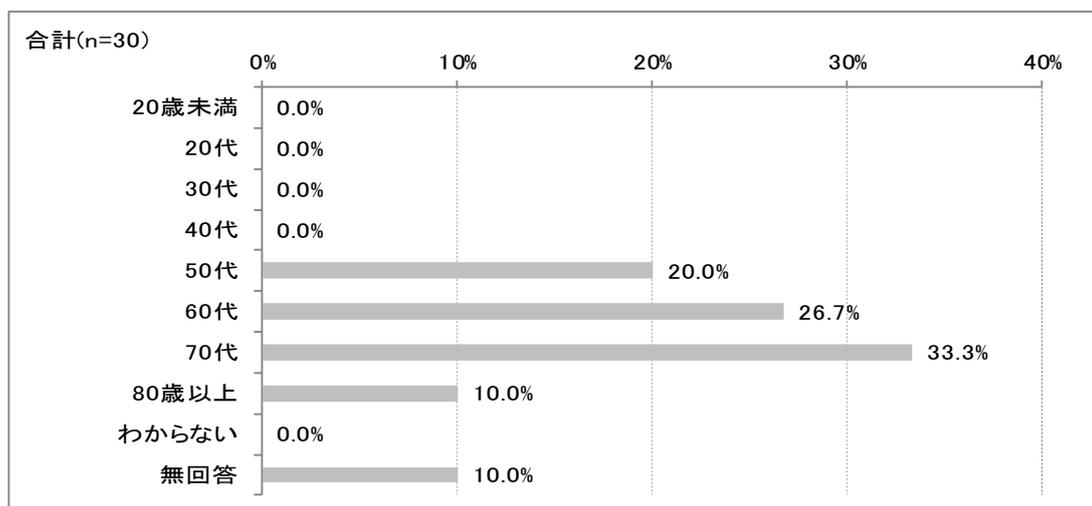
図表 1-4 ★主な介護者の性別（単数回答）



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

「70代」の割合が最も高く 33.3%となっている。次いで、「60代(26.7%)」、「50代(20.0%)」となっている。

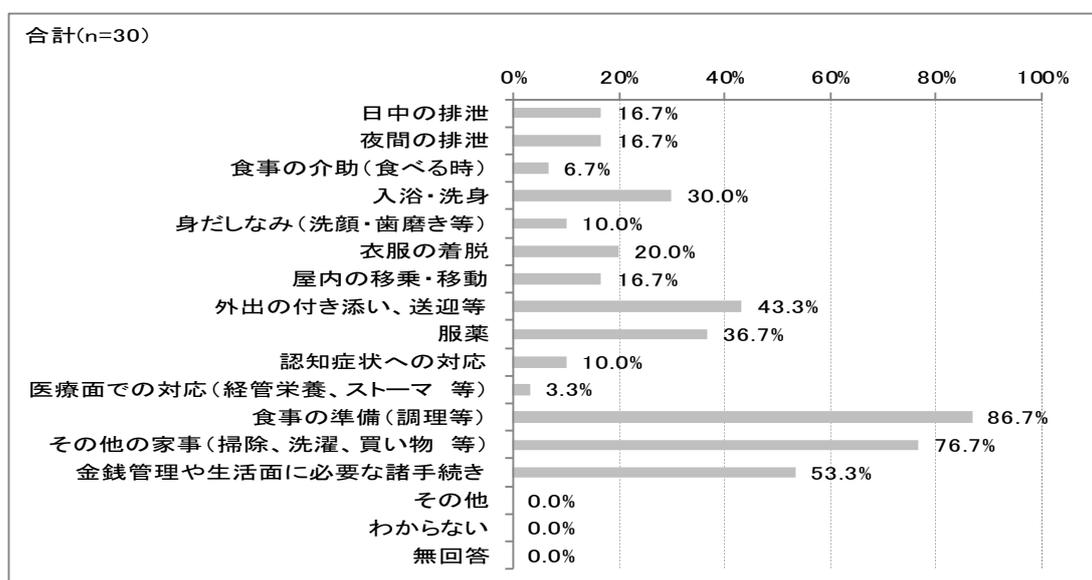
図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

「食事の準備（調理等）」の割合が最も高く 86.7%となっている。次いで、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）（76.7%)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（53.3%)」となっている。

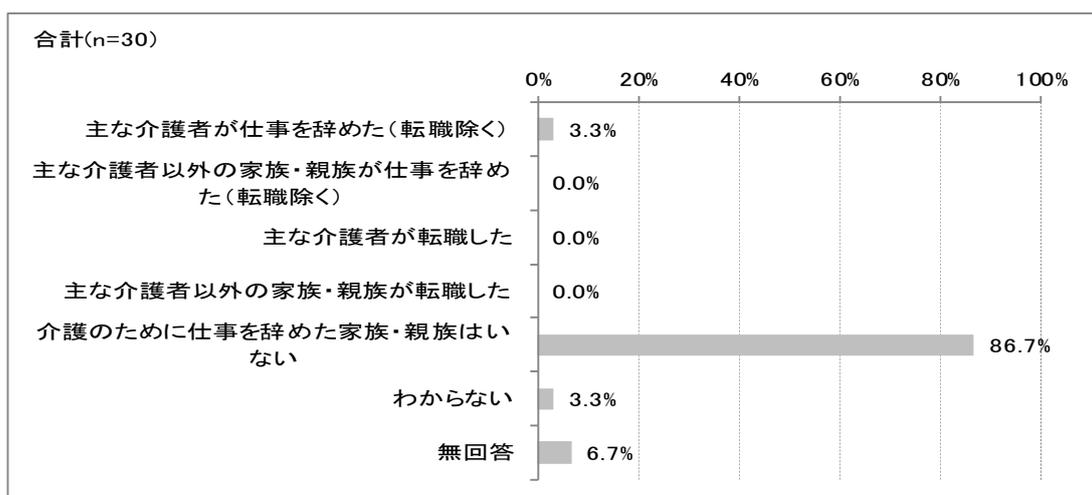
図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（複数選択可）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 86.7%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（3.3%）」、「わからない（3.3%）」、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）（0.0%）」、「主な介護者が転職した（0.0%）」、「主な介護者以外の家族・親族が転職した（0.0%）」となっている。

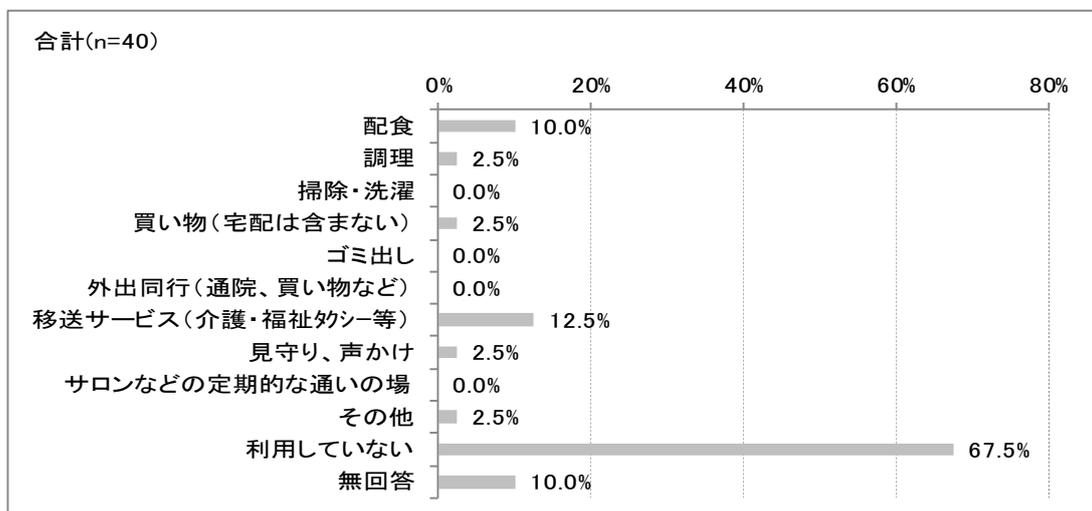
図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

「利用していない」の割合が最も高く 67.5%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（12.5%）」、「配食（10.0%）」となっている。

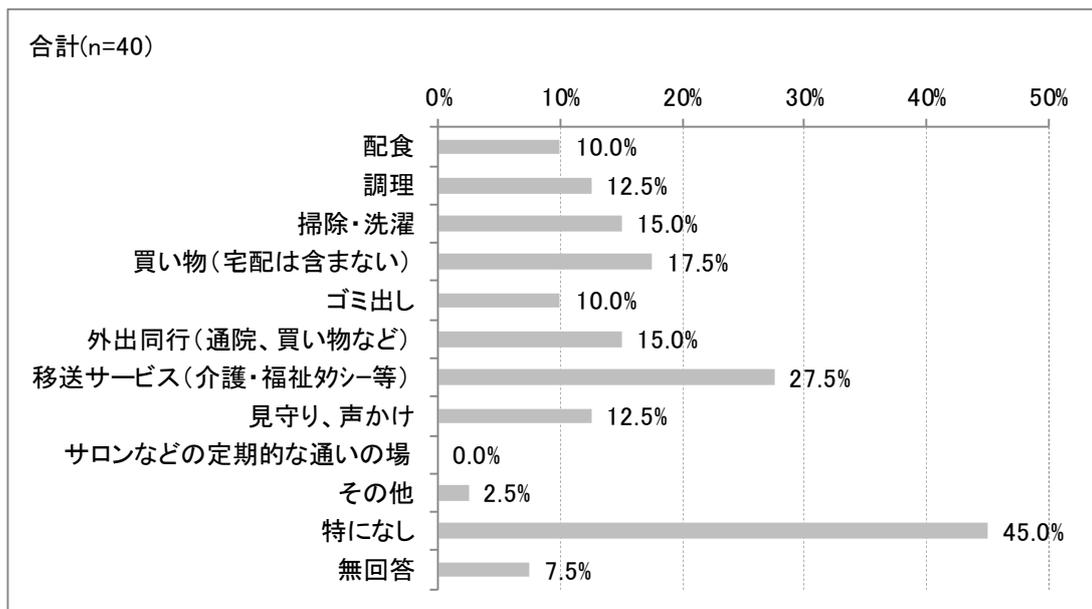
図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

「特になし」の割合が最も高く 45.0%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（27.5%）」、「買い物（宅配は含まない）（17.5%）」となっている。

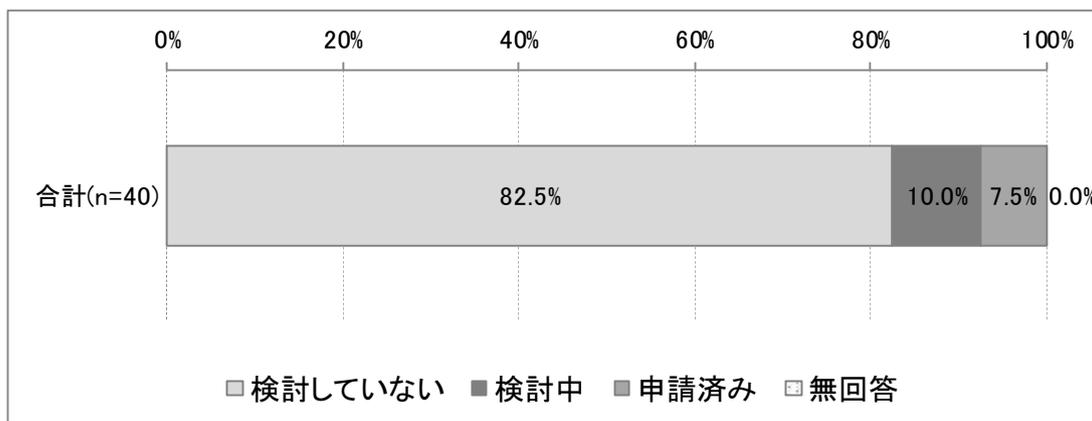
図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

「検討していない」の割合が最も高く 82.5%となっている。次いで、「検討中（10.0%）」、「申請済み（7.5%）」となっている。

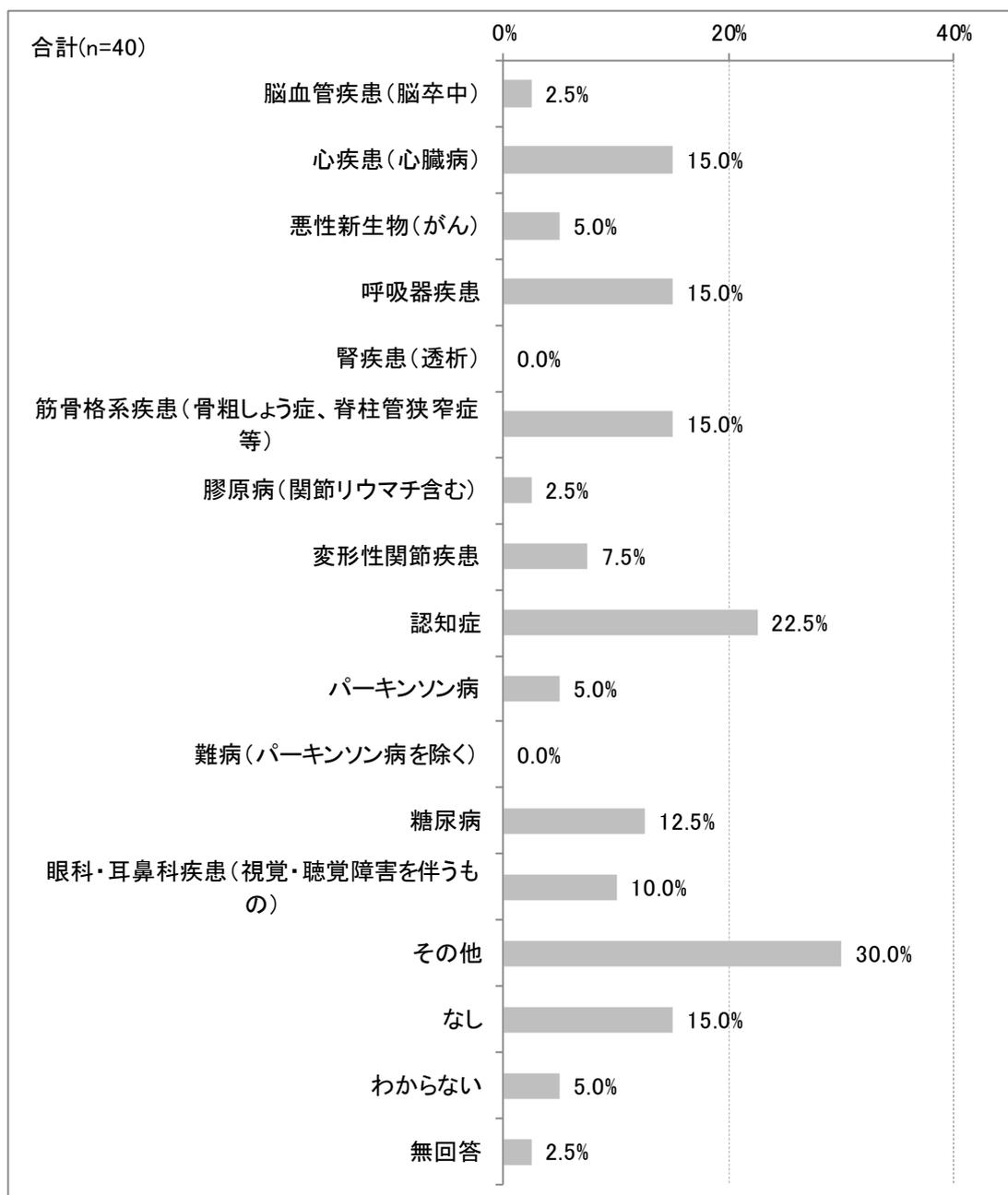
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

「その他」の割合が最も高く 30.0%となっている。次いで、「認知症（22.5%）」、「心疾患（心臓病）（15.0%）」、「呼吸器疾患（15.0%）」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）（15.0%）」、「なし（15.0%）」となっている。

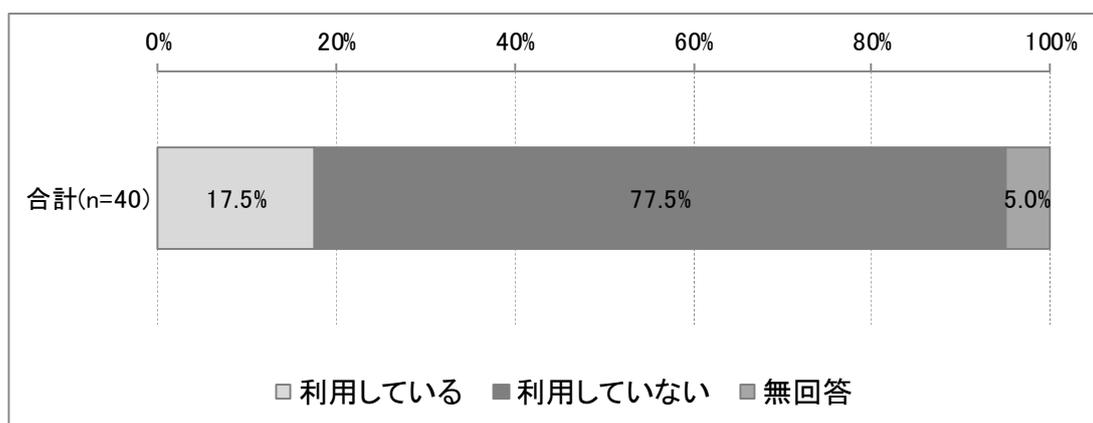
図表 1-11 ★本人が抱えている傷病（複数回答）



問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか
（1つを選択）

「利用していない」の割合が最も高く 77.5%となっている。次いで、「利用している（17.5%）」となっている。

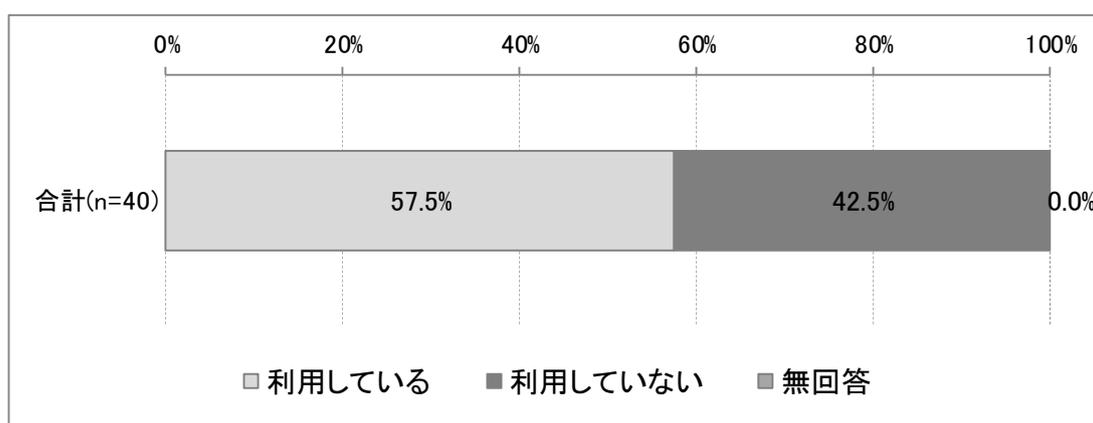
図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無（単数回答）



問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

「利用している」の割合が最も高く 57.5%となっている。次いで、「利用していない（42.5%）」となっている。

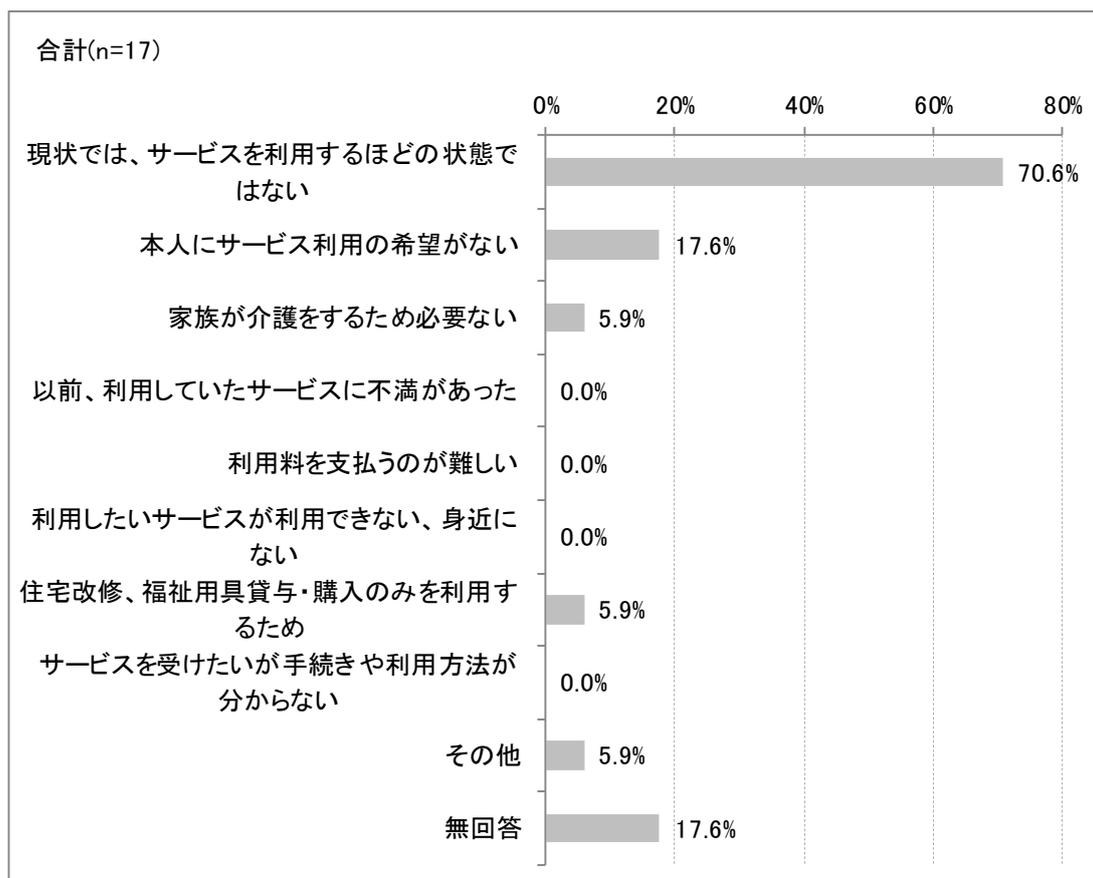
図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く 70.6%となっている。次いで、「本人にサービス利用の希望がない（17.6%）」、「家族が介護をするため必要ない（5.9%）」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため（5.9%）」、「その他（5.9%）」となっている。

図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

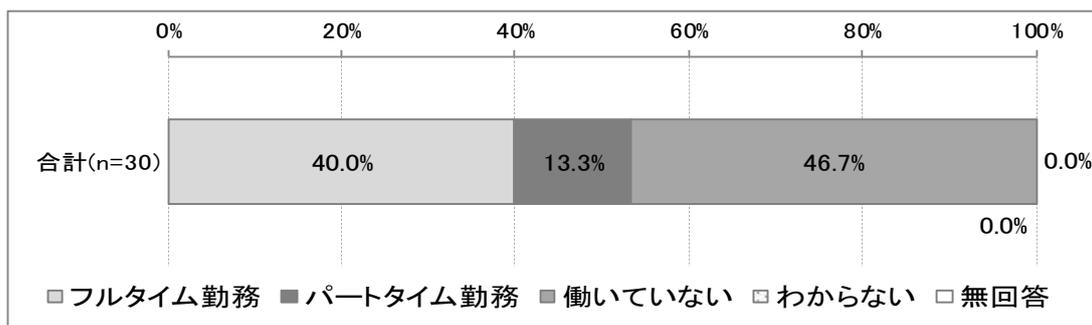


2 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

「働いていない」の割合が最も高く46.7%となっている。次いで、「フルタイム勤務(40.0%)」、「パートタイム勤務(13.3%)」となっている。

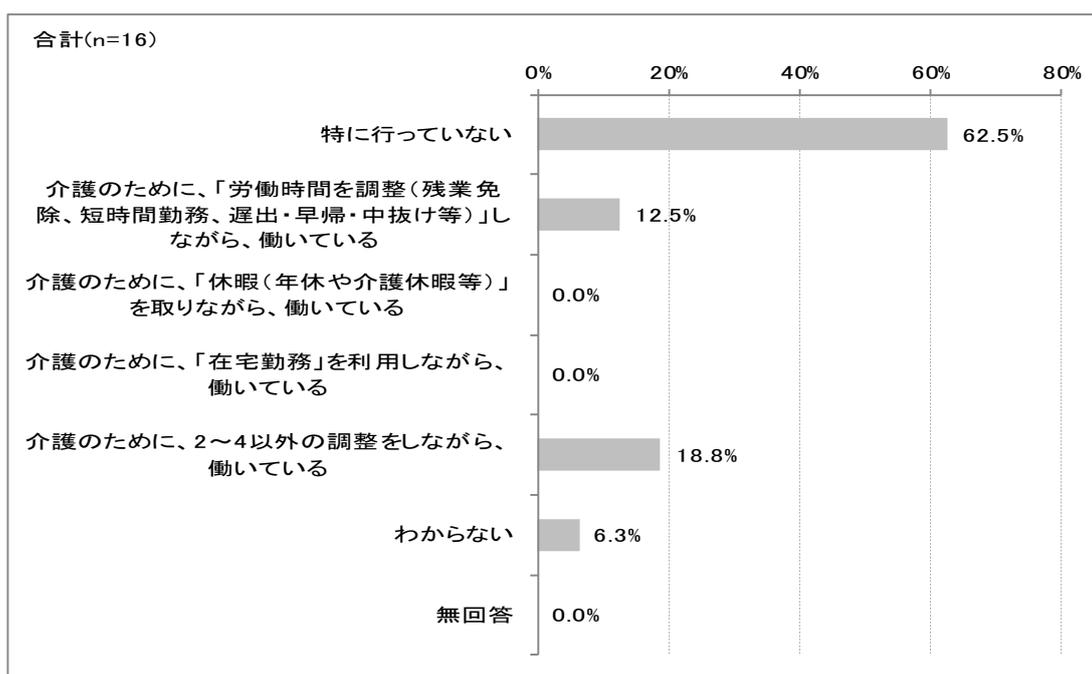
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）

「特に行っていない」の割合が最も高く62.5%となっている。次いで、「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている（18.8%)」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（12.5%)」となっている。

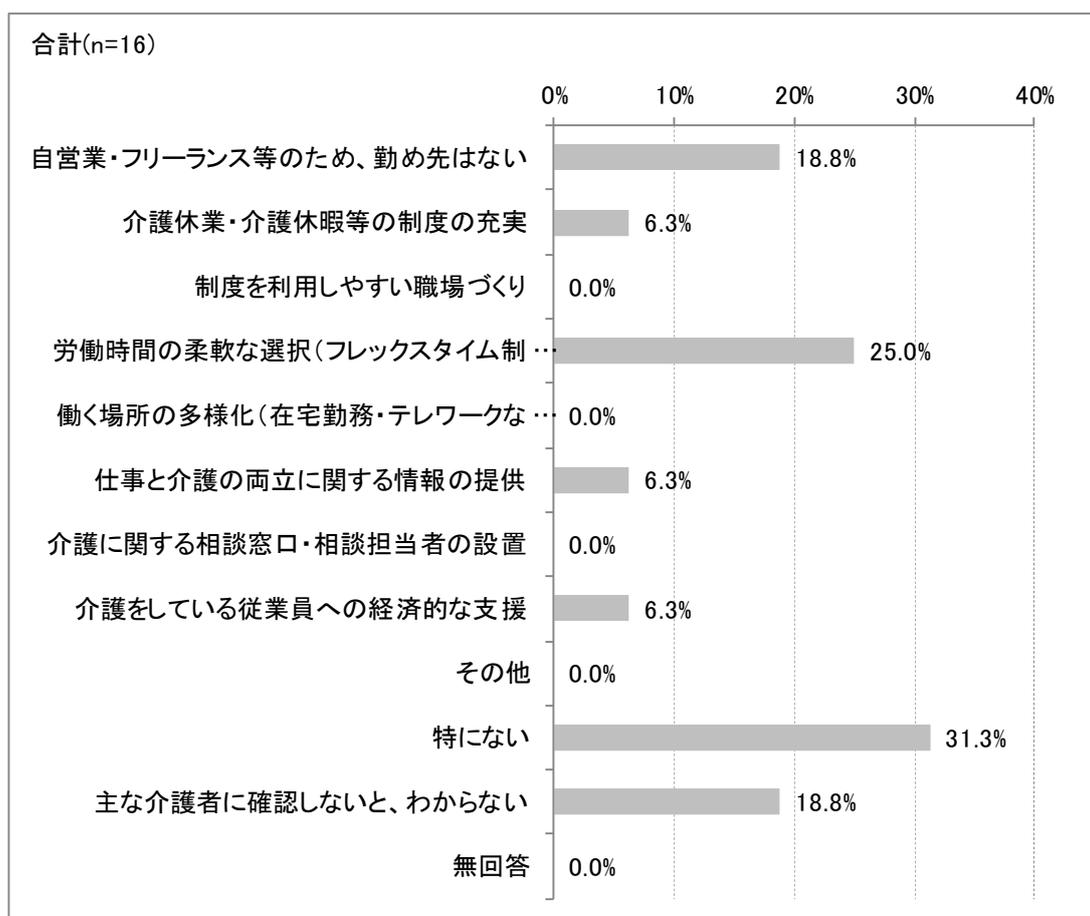
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

「特にない」の割合が最も高く 31.3%となっている。次いで、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）(25.0%)」、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない(18.8%)」、「主な介護者に確認しないと、わからない（18.8%）」となっている。

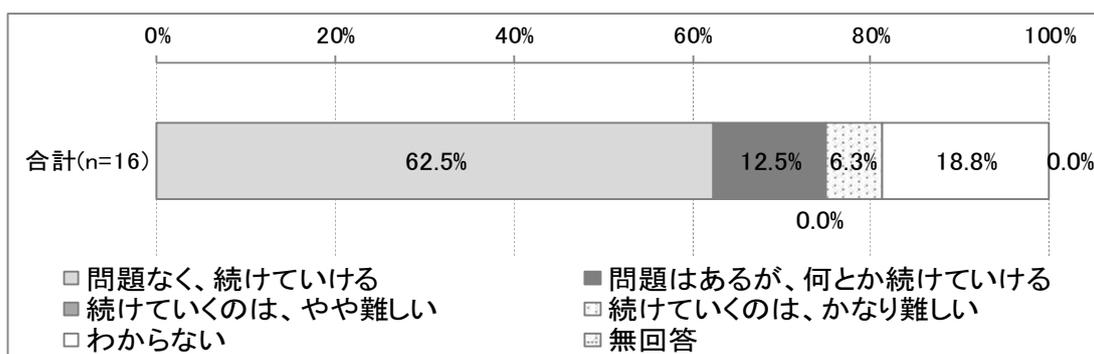
図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか
(1つを選択)

「問題なく、続けていける」の割合が最も高く 62.5%となっている。次いで、「わからない (18.8%)」、「問題はあるが、何とか続けていける (12.5%)」となっている。

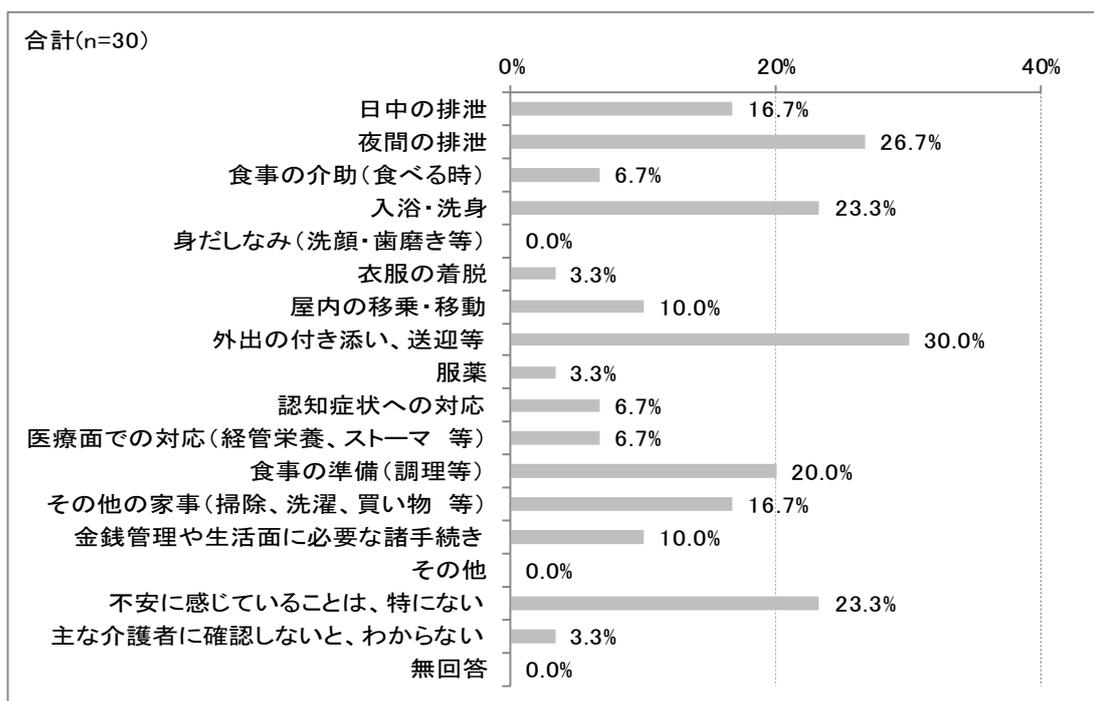
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください (3つまで選択可)

「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 30.0%となっている。次いで、「夜間の排泄 (26.7%)」、「入浴・洗身 (23.3%)」、「不安に感じていることは、特にない (23.3%)」となっている。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 (複数回答)



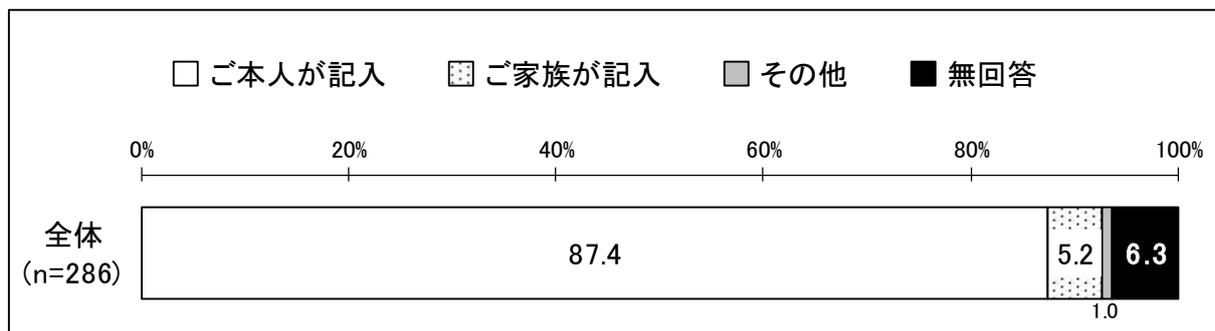
第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

1. 調査票を記入された方とご本人について

(1) 記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。

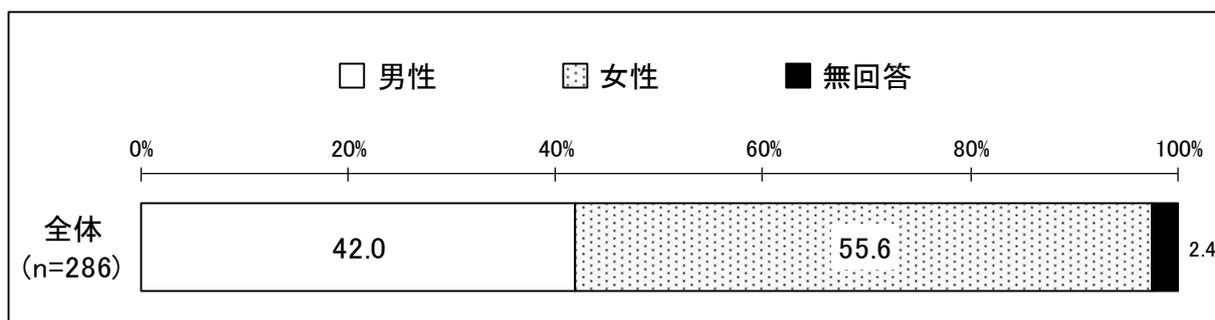
記入者については、「ご本人が記入」が87.4%、「ご家族が記入」が5.2%、「その他」が1.0%となっています。



(2) 性別

問1. あなたの性別を選んでください。

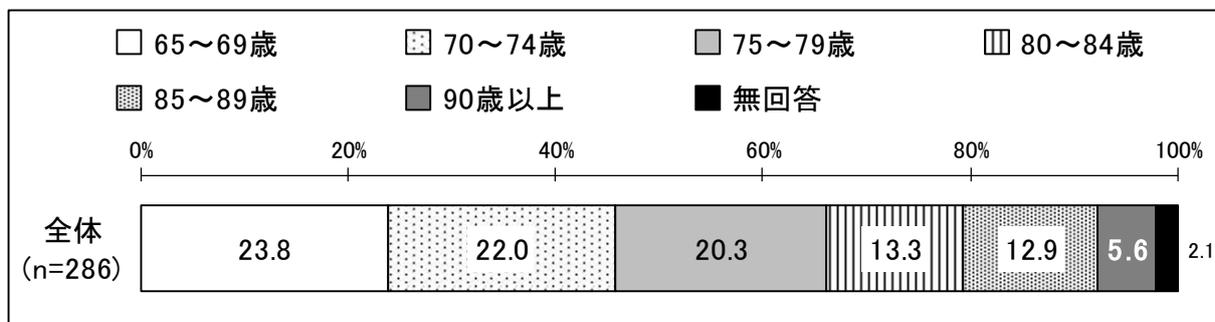
性別は、「男性」が42.0%、「女性」が55.6%となっています。



(3) 年齢

問2. あなたの年齢（令和5年9月1日現在）を教えてください。

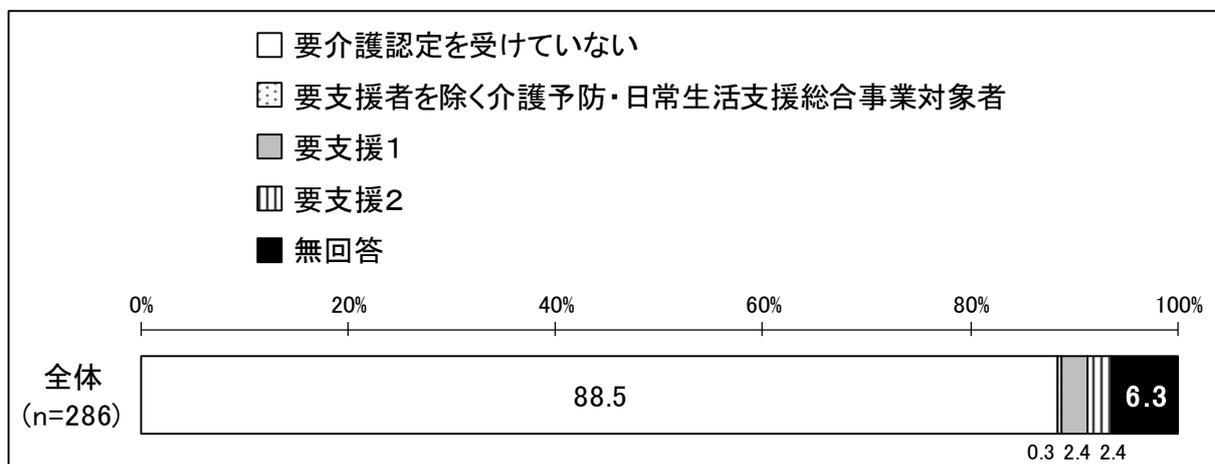
年齢は、「65～69歳」が23.8%で最も高く、次いで「70～74歳」が22.0%、「75～79歳」が20.3%等の順となっています。



(4) 要介護状態区分

問3. あなたの介護度（令和5年9月1日現在）を教えてください。

要介護状態区分は、「要介護認定を受けていない」が88.5%、「要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者」が0.3%、「要支援1」と「要支援2」が同率2.4%となっています。

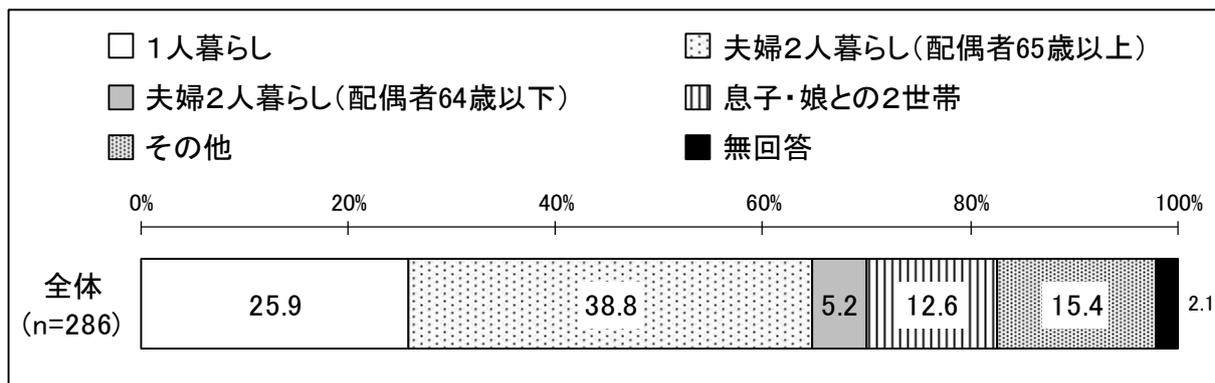


2. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成

問1. 家族構成をお教えてください。

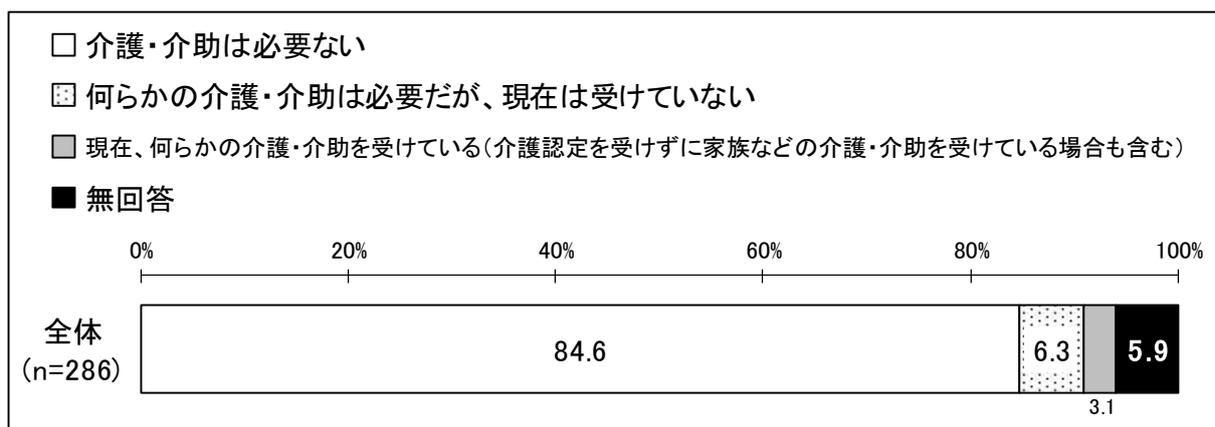
家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が38.8%で最も高く、次いで「1人暮らし」が25.9%、「息子・娘との2世帯」が12.6%等の順となっています。



(2) 介護等の必要性

問2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

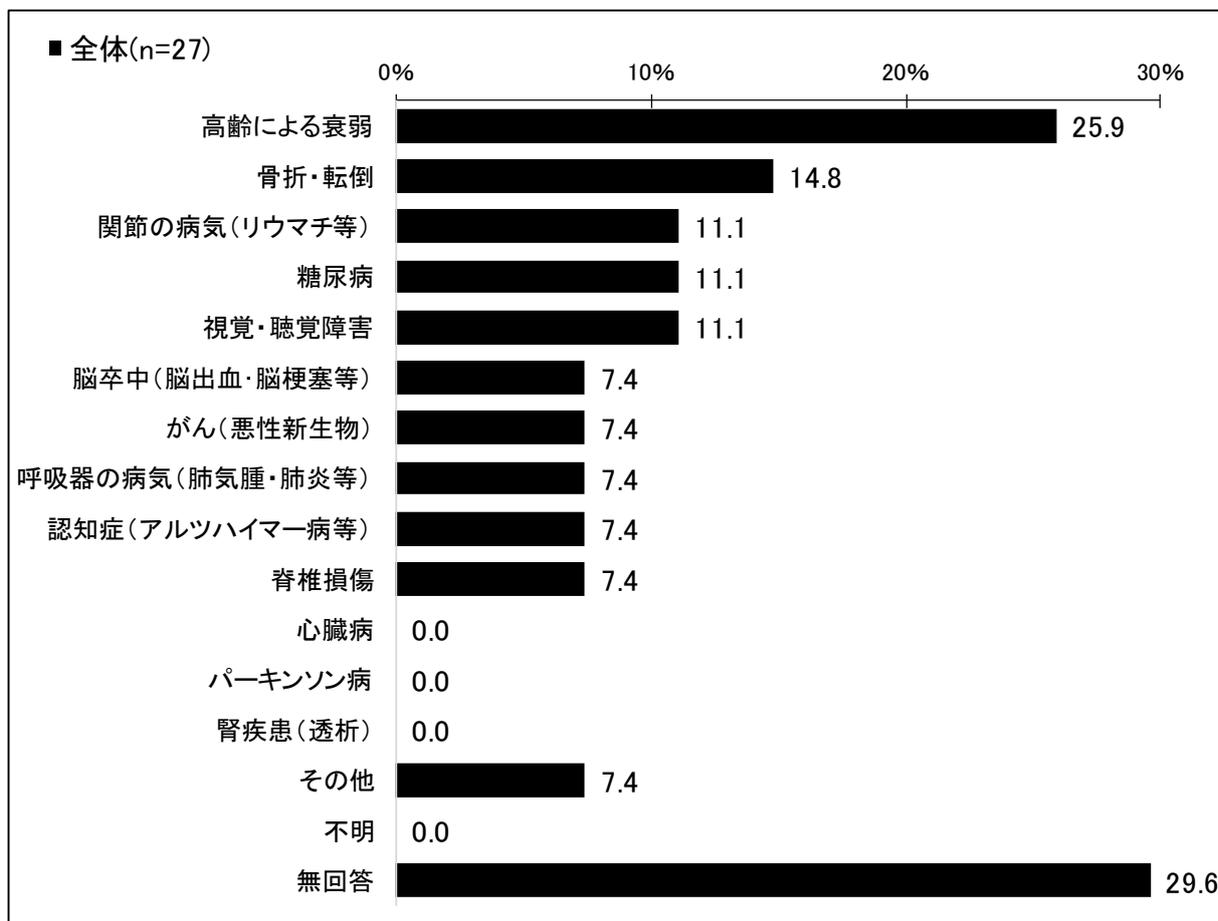
介護等の必要性については、「介護・介助は必要ない」が84.6%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%、「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）」が3.1%の順となっています。



(3) 介護等が必要になった主な原因

問2-1. 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。【複数回答可】

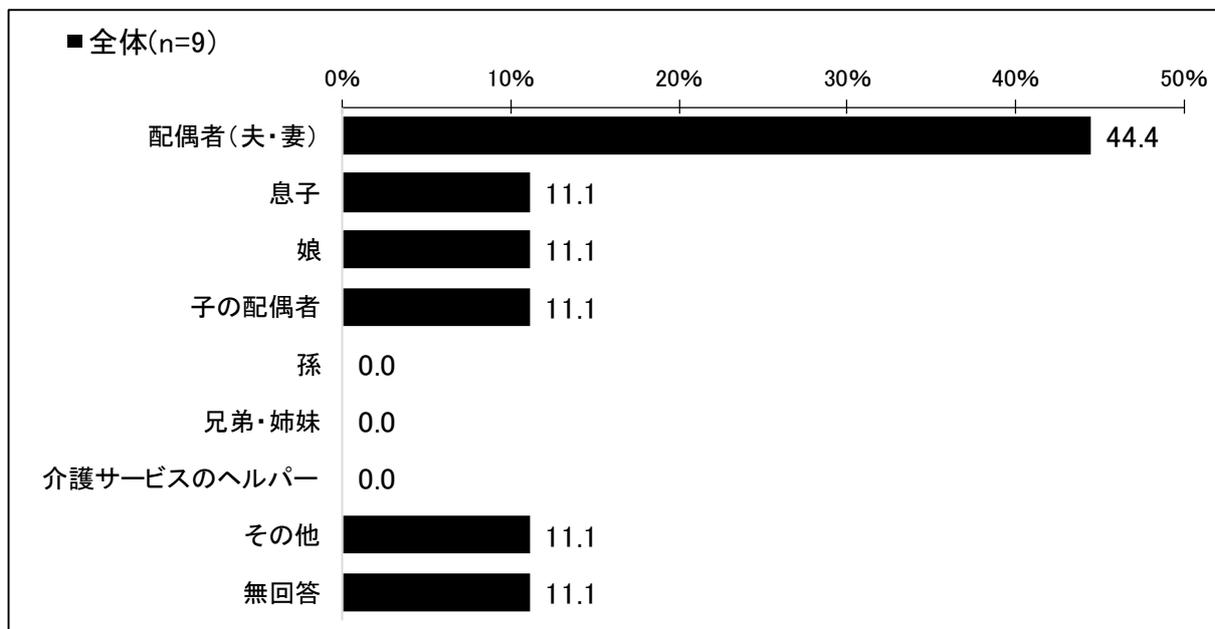
介護等が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が25.9%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が14.8%、「関節の病気（リウマチ等）」「糖尿病」「視覚・聴覚障害」が同率11.1%等の順となっています。



(4) 主な介助者

問2-2. 主にどなたの介護・介助を受けていますか。【複数回答可】

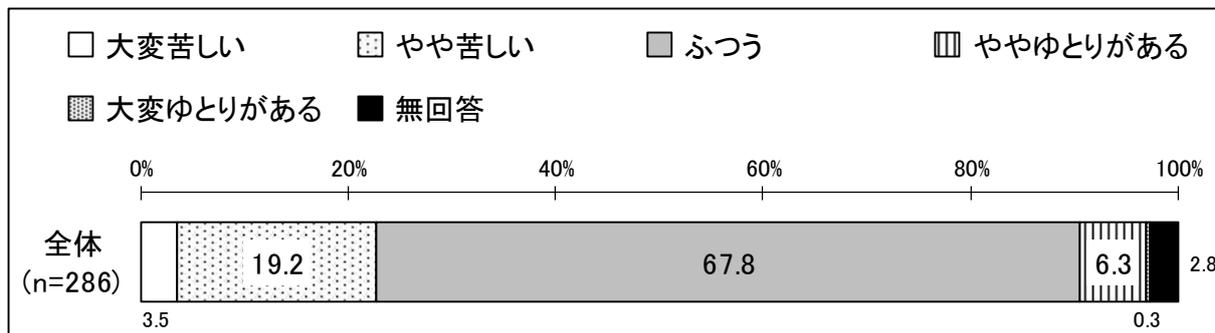
主な介助者については、「配偶者（夫・妻）」が44.4%で最も高く、次いで「息子」「娘」「子の配偶者」が同率11.1%となっています。



(5) 暮らしの経済的状況

問3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

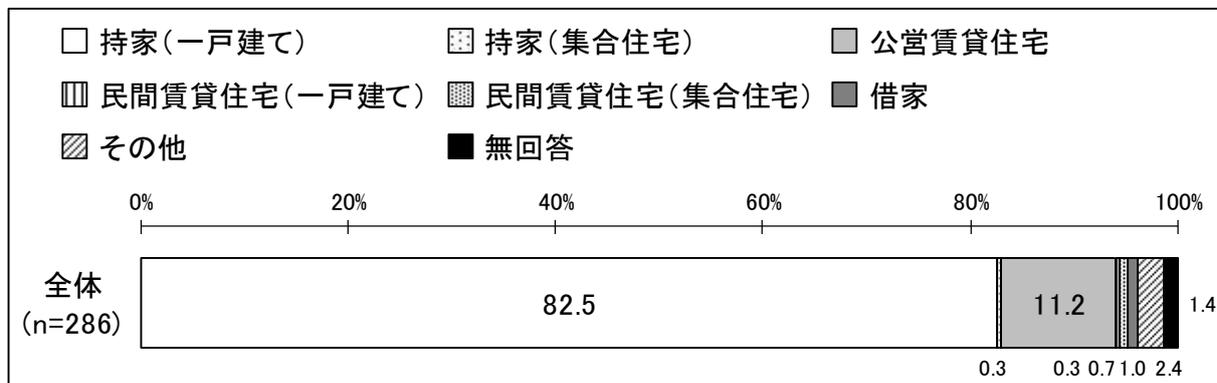
暮らしの経済的状況については、「ふつう」が67.8%で最も高く、次いで「やや苦しい」が19.2%、「ややゆとりがある」が6.3%、「大変苦しい」が3.5%等の順となっています。



(6) 住まい

問4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

住まいについては、「持家（一戸建て）」が82.5%で最も高く、次いで「公営賃貸住宅」が11.2%、「借家」が1.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が0.7%等の順となっています。

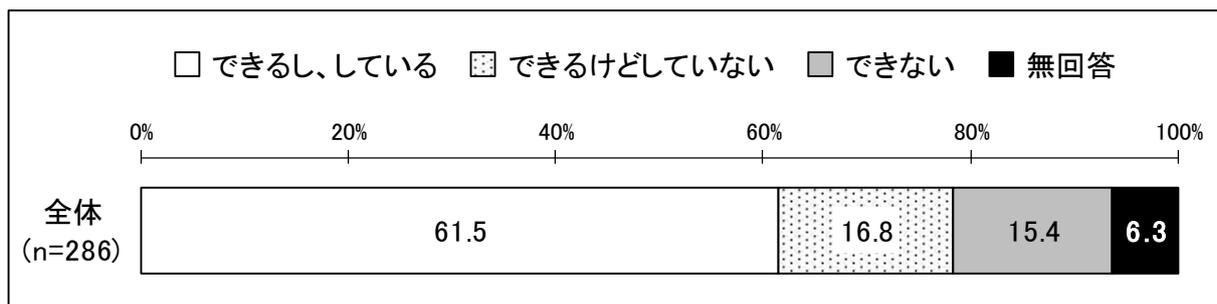


3. からだ動かすことについて

(1) 階段の昇り

問1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

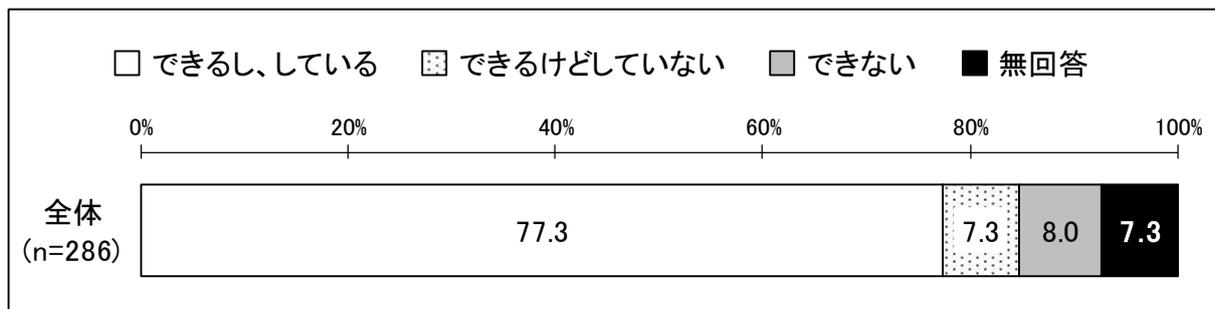
階段の昇りについては、「できるし、している」が61.5%で最も高く、「できるけどしていない」が16.8%、「できない」が15.4%の順となっています。



(2) 椅子からの立ち上がり

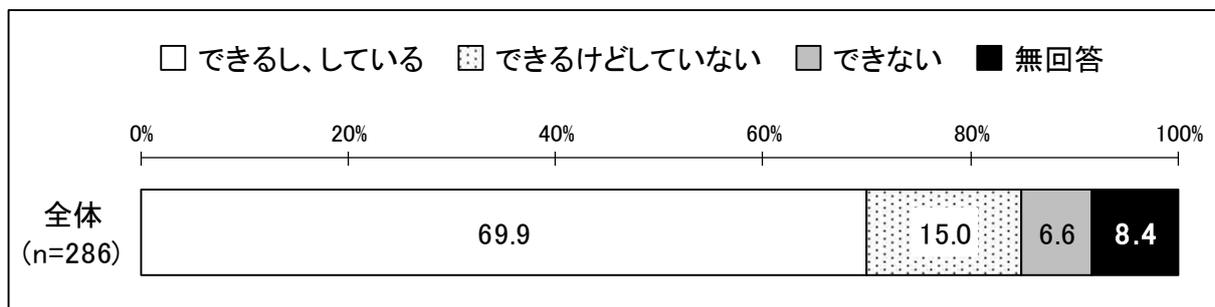
問2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

椅子からの立ち上がりについては、「できるし、している」が77.3%で最も高く、次いで「できない」が8.0%、「できるけどしていない」が7.3%の順となっています。



問3. 15分位続けて歩いていますか。

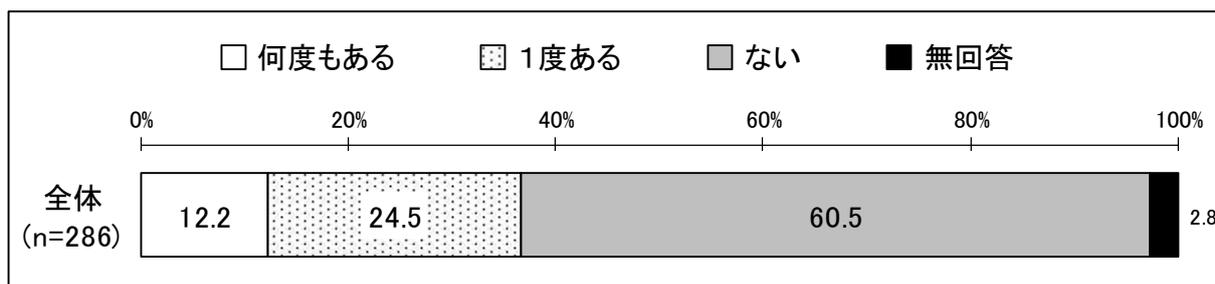
15分の継続的歩行については、「できるし、している」が69.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.0%、「できない」が6.6%の順となっています。



(4) 過去1年間の転倒経験

問4. 過去1年間に転んだ経験がありますか。

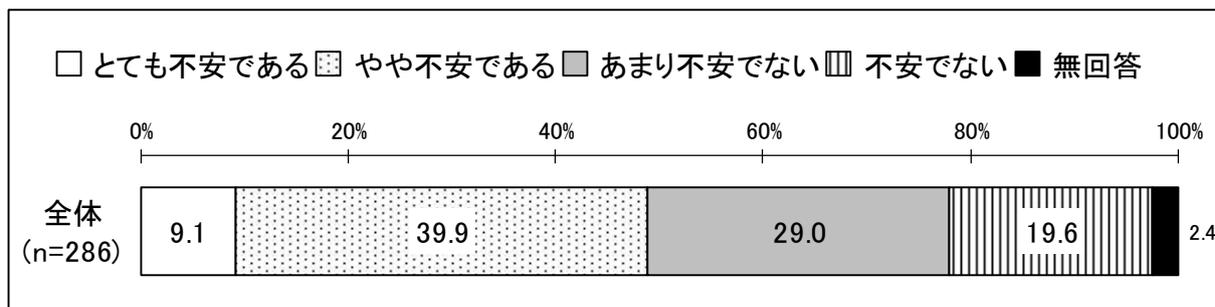
過去1年間の転倒経験については、「ない」が60.5%で最も高く、「1度ある」が24.5%、「何度もある」が12.2%の順となっています。



(5) 転倒に対する不安

問5. 転倒に対する不安は大きいですか。

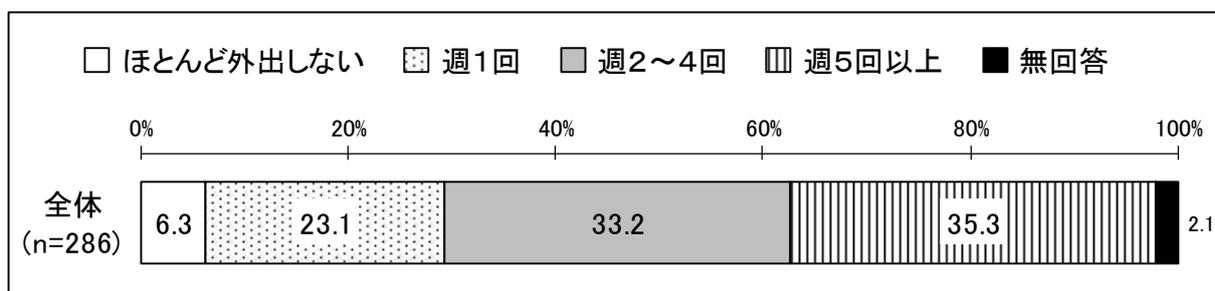
転倒に対する不安については、「やや不安である」が39.9%で最も高く、「あまり不安でない」が29.0%、「不安でない」が19.6%、「とても不安である」が9.1%の順となっています。



(6) 週1回以上の外出

問6. 週に1回以上は外出していますか。

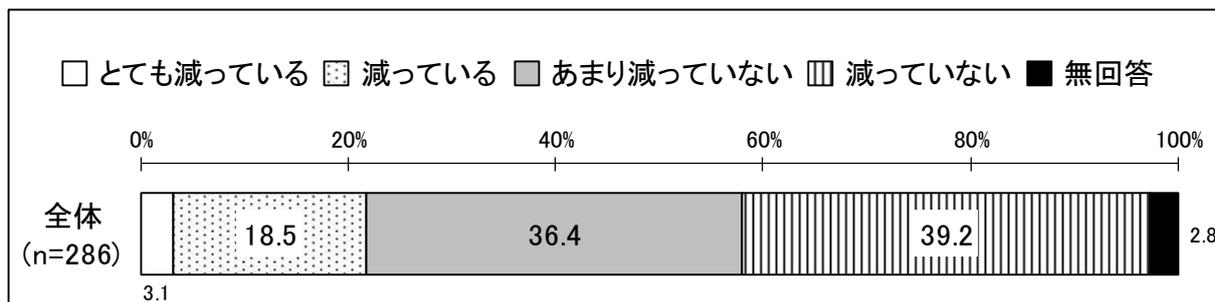
週1回以上の外出については、「週5回以上」が35.3%で最も高く、「週2～4回」が33.2%、「週1回」が23.1%、「ほとんど外出しない」が6.3%の順となっています。



(7) 昨年と比べ外出回数の減少

問7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

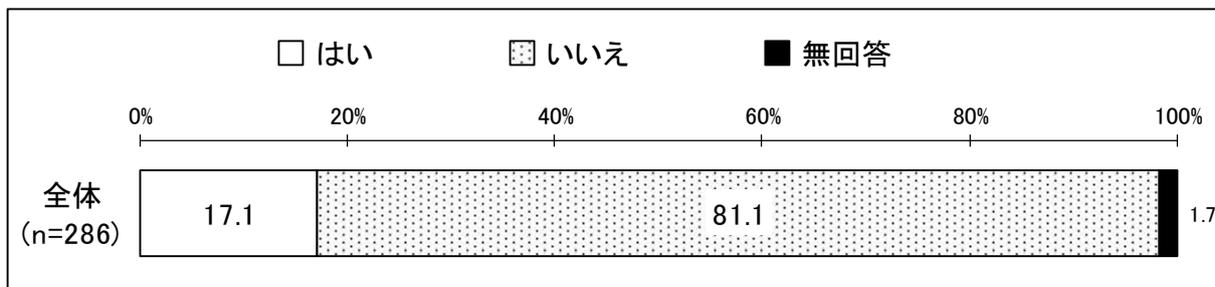
昨年と比べ外出回数の減少については、「減っていない」が39.2%で最も高く、「あまり減っていない」が36.4%、「減っている」が18.5%、「とても減っている」が3.1%の順となっています。



(8) 外出を控えているか

問8. 外出を控えていますか。

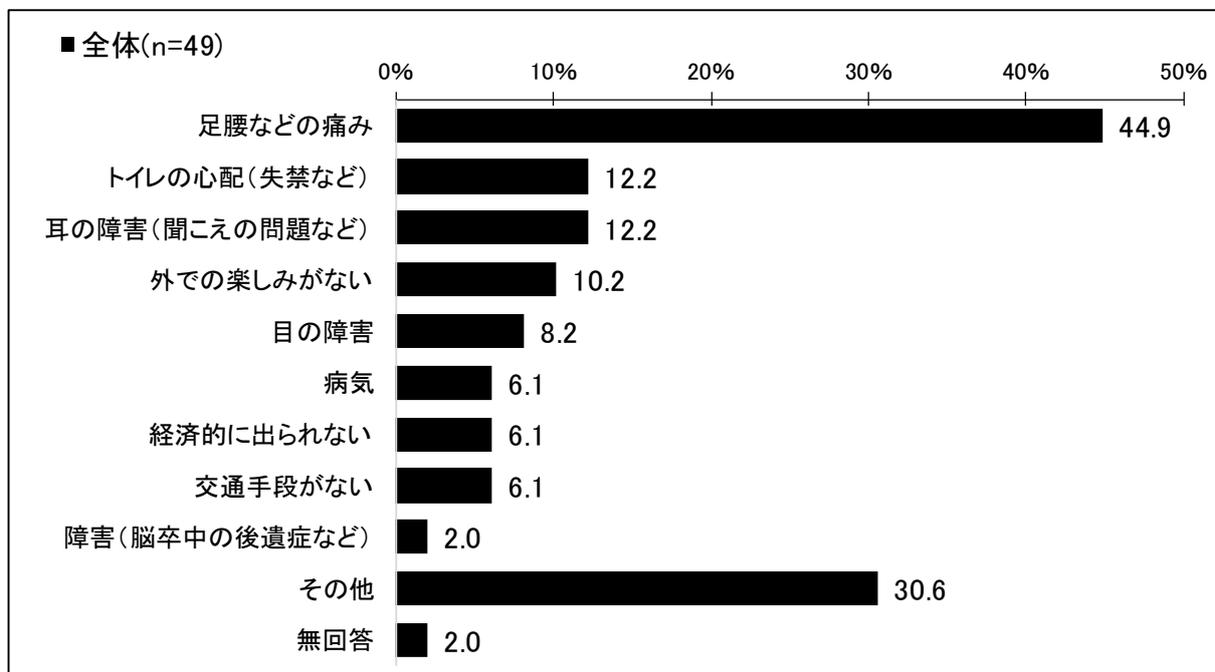
外出を控えているかについては、「はい」が17.1%、「いいえ」が81.1%となっています。



(9) 外出を控えている理由

問8-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか。【複数回答可】

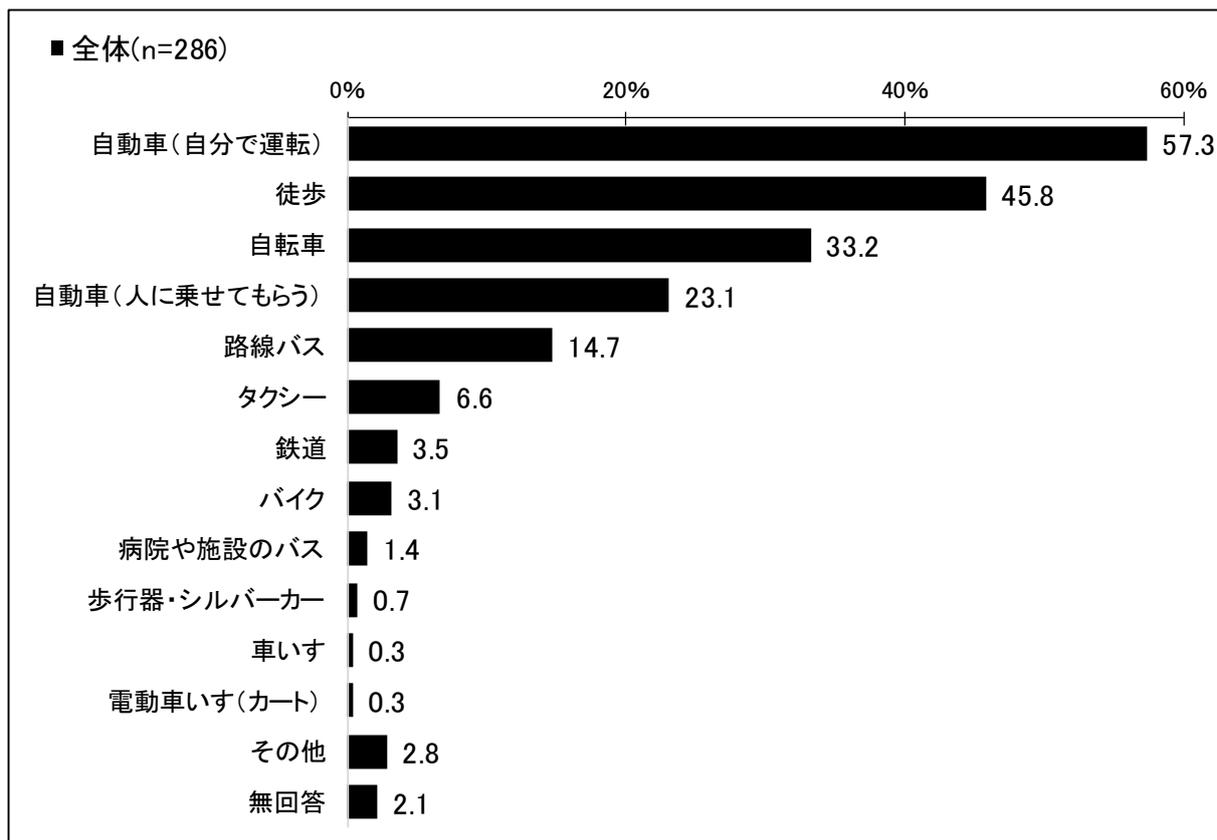
外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が44.9%で最も高く、「トイレの心配(失禁など)」「耳の障害(聞こえの問題など)」が同率12.2%、「外での楽しみがない」が10.2%等の順となっています。



(10) 外出の移動手段

問9. 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答可】

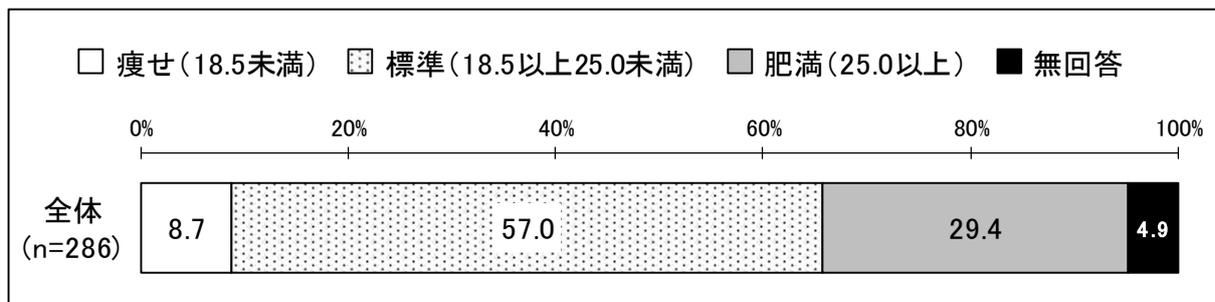
外出の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が57.3%で最も高く、次いで「徒歩」が45.8%、「自転車」が33.2%、「自動車（人に乗せてもらう）」が23.1%等の順となっています。



4. 食べることについて

(1) BMI

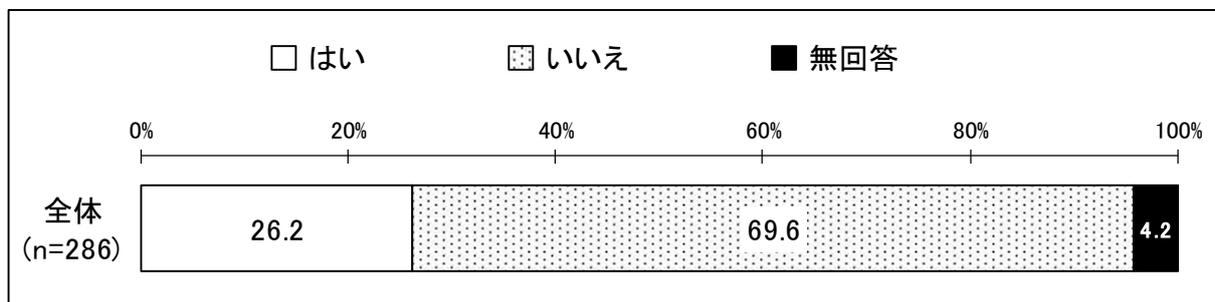
BMIについては、「標準（18.5以上25.0未満）」が57.0%で最も高く、次いで「肥満（25.0以上）」が29.4%、「痩せ（18.5未満）」が8.7%の順となっています。



(2) 半年前と比べ固いものが食べにくいか

問2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

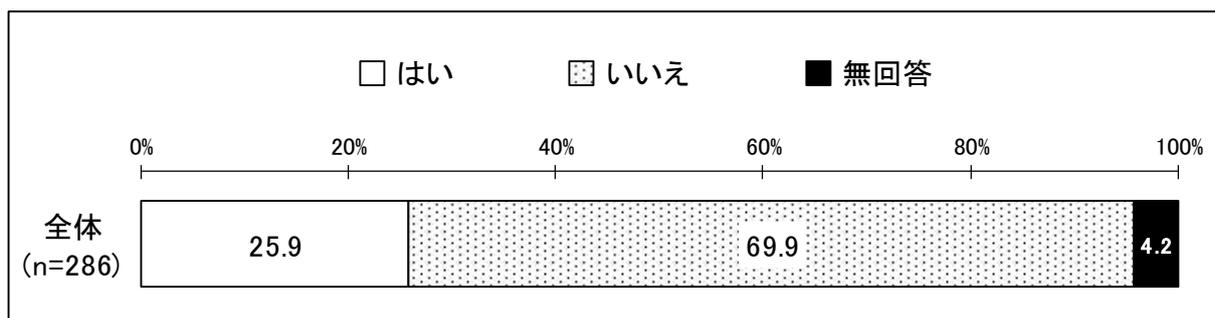
半年前と比べ固いものが食べにくいかについては、「はい」が26.2%、「いいえ」が69.6%となっています。



(3) お茶等でむせるか

問3. お茶や汁物等でむせることがありますか。

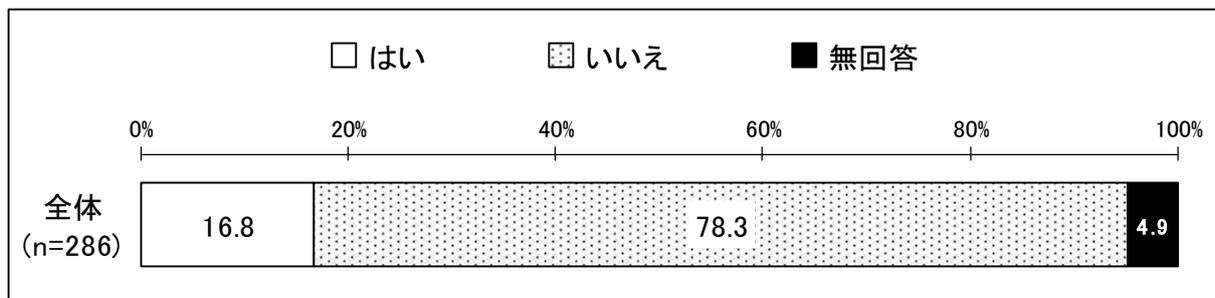
お茶等でむせるかについては、「はい」が25.9%、「いいえ」が69.9%となっています。



(4) 口の渇きが気になるか

問4. 口の渇きが気になりますか。

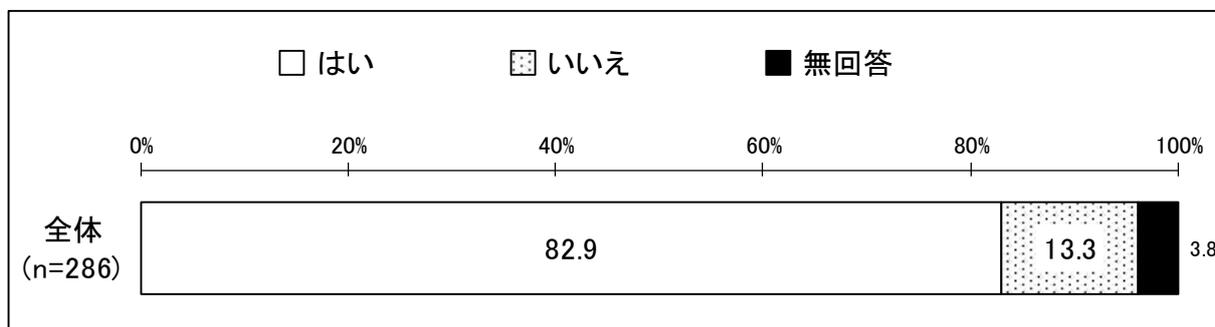
口の渇きが気になるかについては、「はい」が16.8%、「いいえ」が78.3%となっています。



(5) 歯磨きを毎日しているか

問5. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

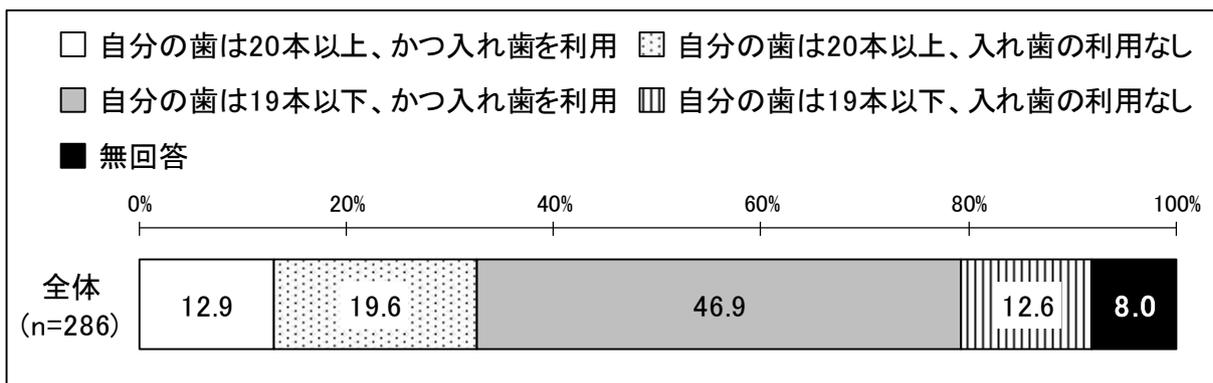
歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が82.9%、「いいえ」が13.3%となっています。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

問6. 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。

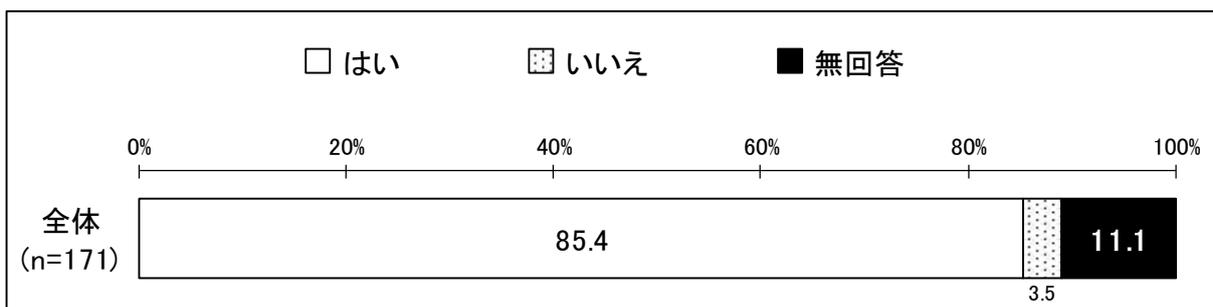
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が46.9%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が19.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が12.9%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が12.6%の順となっています。



(7) 毎日の入れ歯の手入れの有無

問6-1. 【問6で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方にお伺いします】
毎日入れ歯の手入れをしていますか。

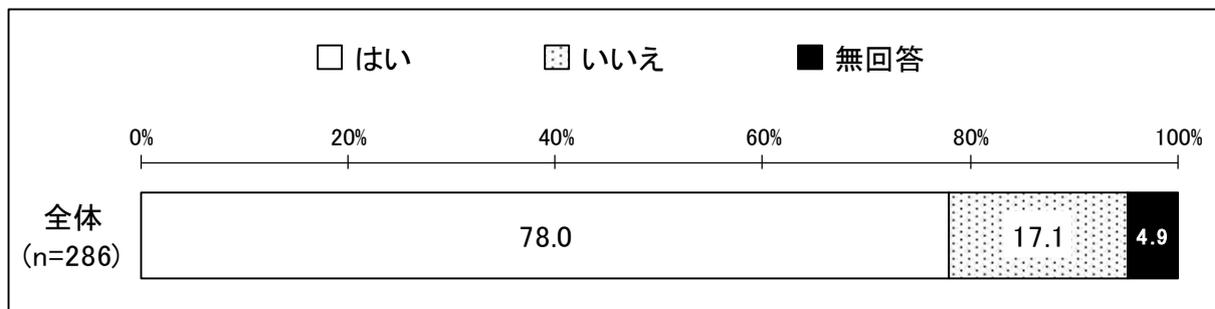
毎日の入れ歯の手入れの有無については、「はい」が85.4%、「いいえ」が3.5%となっています。



(8) 噛み合わせのよさ

問7. 噛み合わせは良いですか。

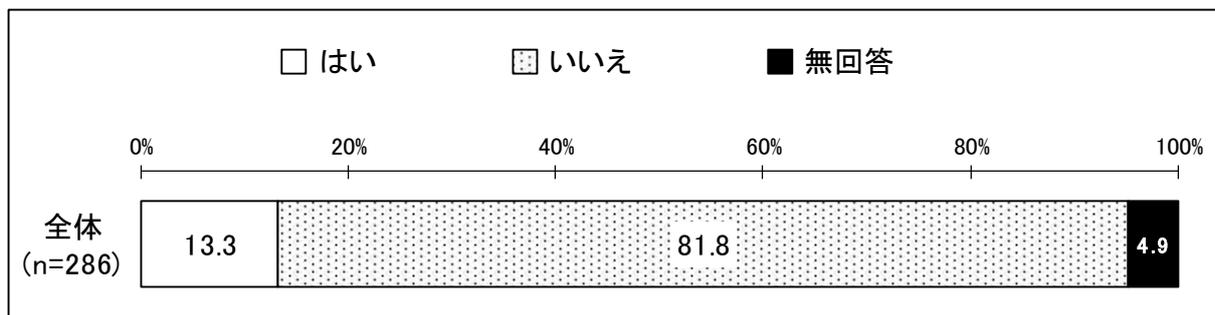
噛み合わせのよさについては、「はい」が78.0%、「いいえ」が17.1%となっています。



(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少

問8. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

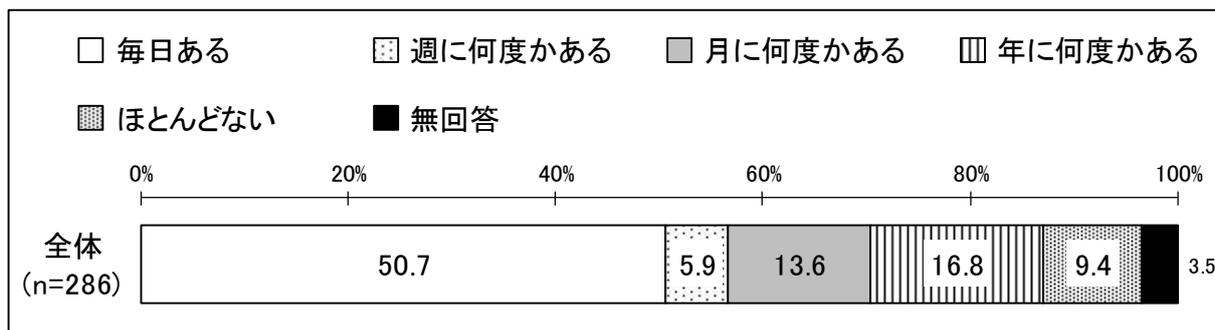
6か月間で2～3kg以上の体重減少については、「はい」が13.3%、「いいえ」が81.8%となっています。



(10) とともに食事する機会の有無

問9. どなたかと食事をとにする機会がありますか。

とともに食事する機会の有無については、「毎日ある」が50.7%で最も高く、次いで「年に何度かある」が16.8%、「月に何度かある」が13.6%、「週に何度かある」が9.4%、「ほとんどない」が5.9%の順となっています。

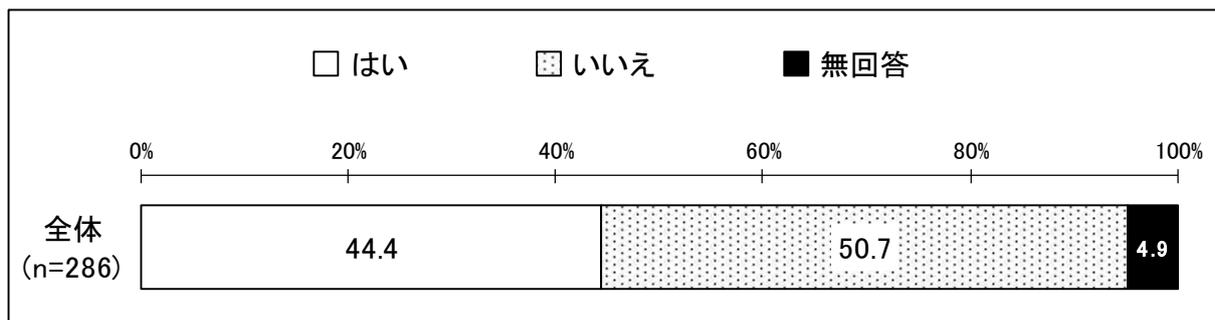


5. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

問1. 物忘れが多いと感じますか。

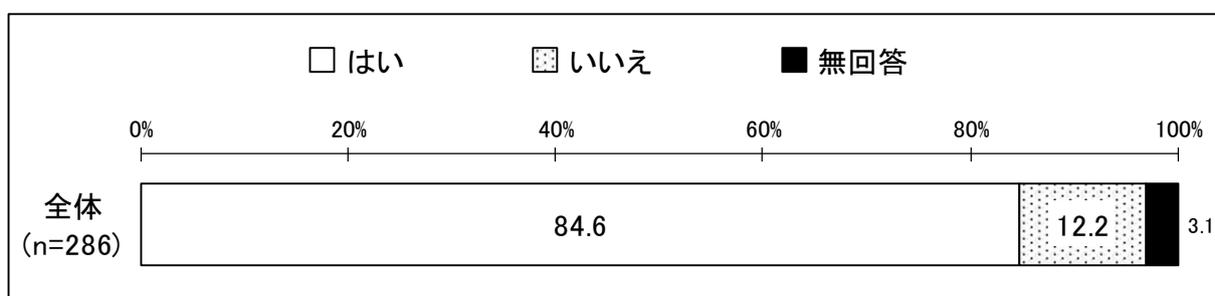
物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が44.4%、「いいえ」が50.7%となっています。



(2) 自分で番号を調べて電話をかけているか

問2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

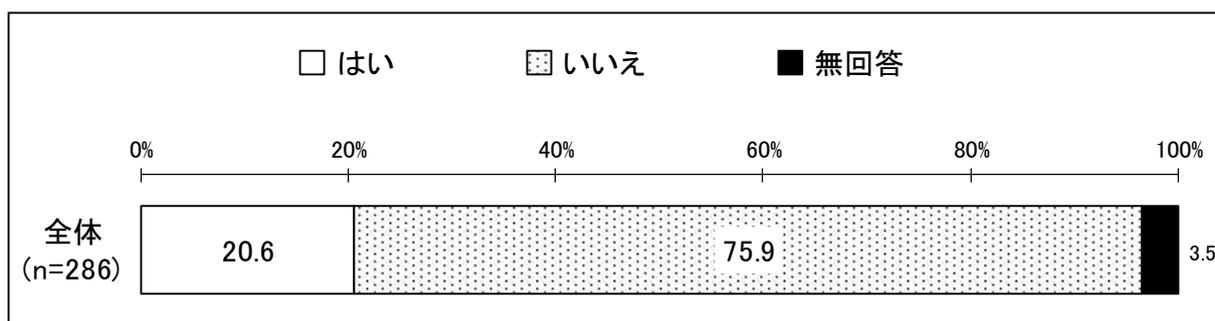
自分で番号を調べて電話をかけているかについては、「はい」が84.6%、「いいえ」が12.2%となっています。



(3) 今日が何月何日かわからない時があるか

問3. 今日が何月何日かわからない時がありますか。

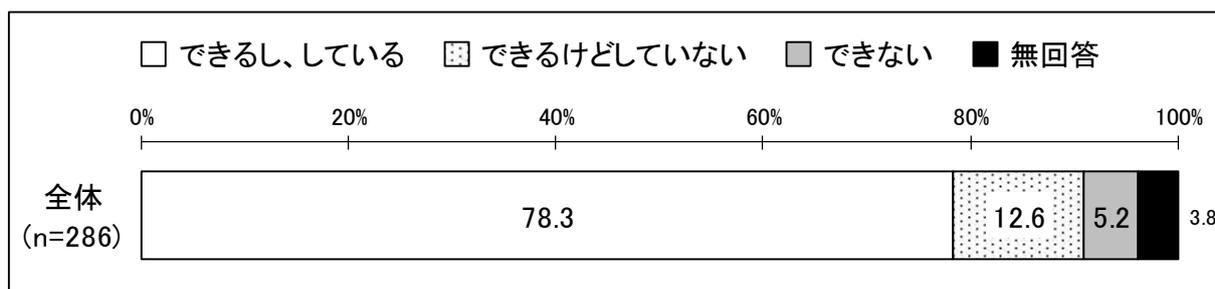
今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が20.6%、「いいえ」が75.9%となっています。



(4) バスや鉄道を使って1人で外出しているか

問4. バスや鉄道を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。

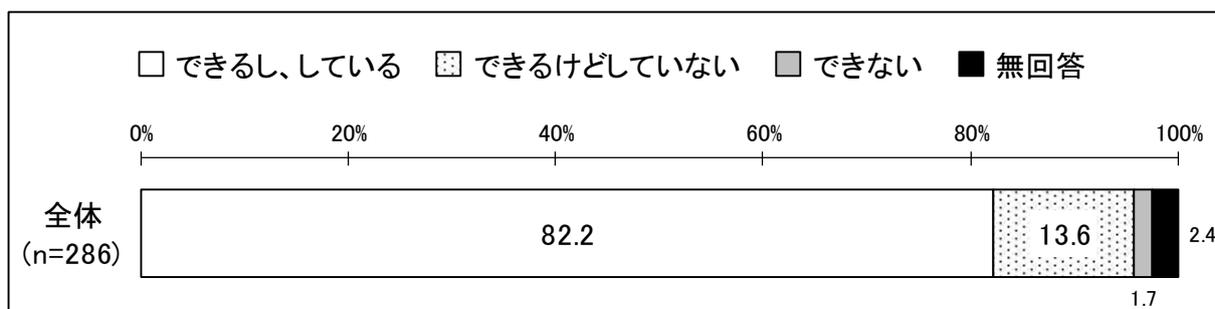
バスや鉄道を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が78.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.6%、「できない」が5.2%の順となっています。



(5) 自分で食品・日用品の買物をしているか

問5. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

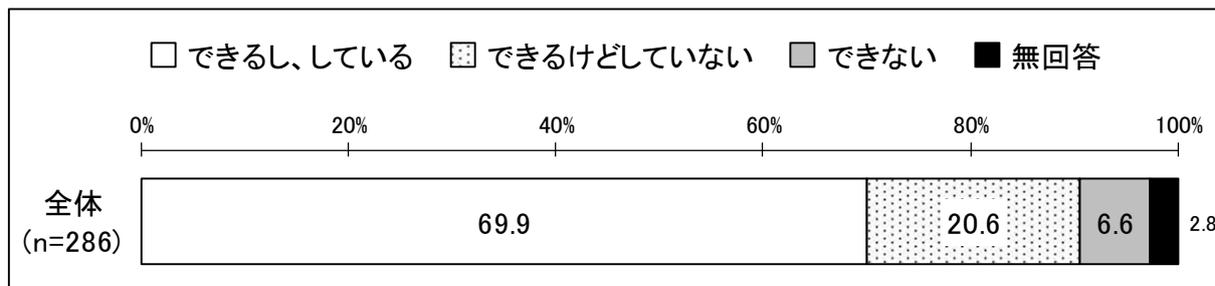
自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が82.2%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.6%、「できない」が1.7%の順となっています。



(6) 自分で食事の用意をしているか

問6. 自分で食事の用意をしていますか。

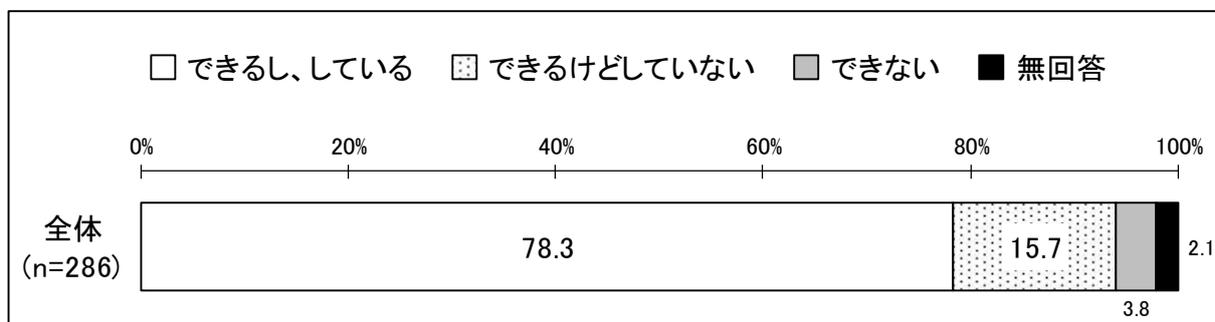
自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が69.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.6%、「できない」が6.6%の順となっています。



(7) 自分で請求書の支払いをしているか

問7. 自分で請求書の支払いをしていますか。

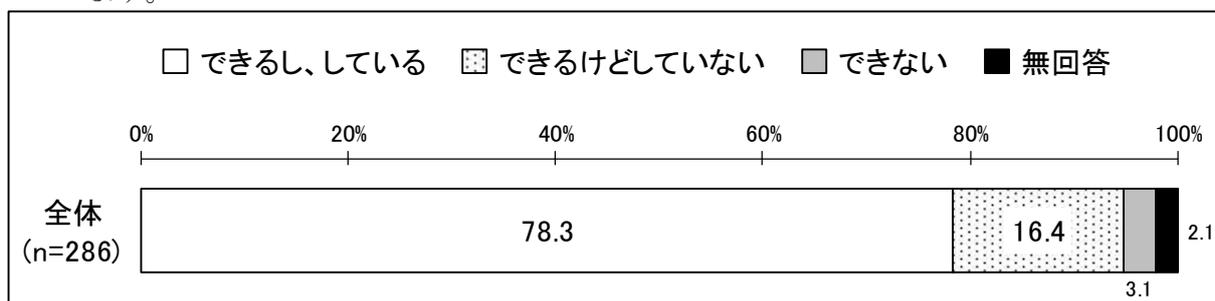
自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が78.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.7%、「できない」が3.8%の順となっています。



(8) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

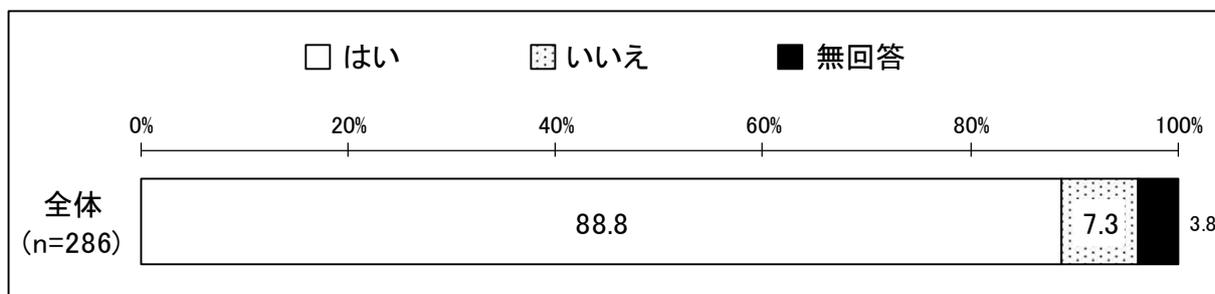
自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が78.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.4%、「できない」が3.1%の順となっています。



(9) 年金等の書類が書けるか

問9. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

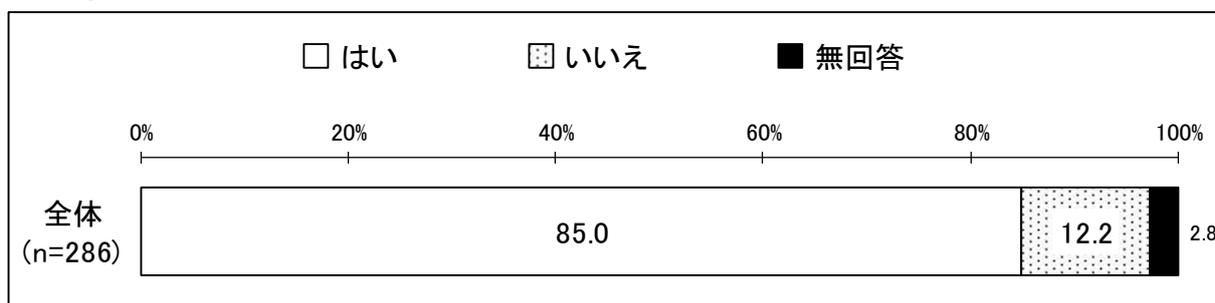
年金等の書類が書けるかについては、「はい」が88.8%、「いいえ」が7.3%となっています。



(10) 新聞を読んでいるか

問10. 新聞を読んでいますか。

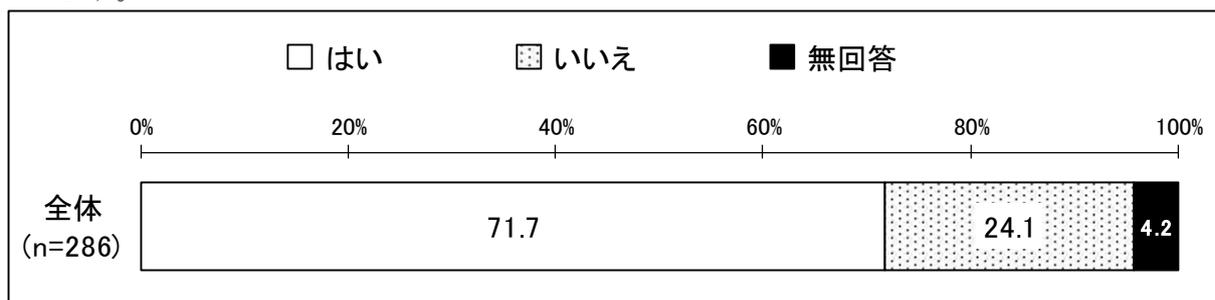
新聞を読んでいるかについては、「はい」が85.0%、「いいえ」が12.2%となっています。



(11) 本や雑誌を読んでいるか

問11. 本や雑誌を読んでいますか。

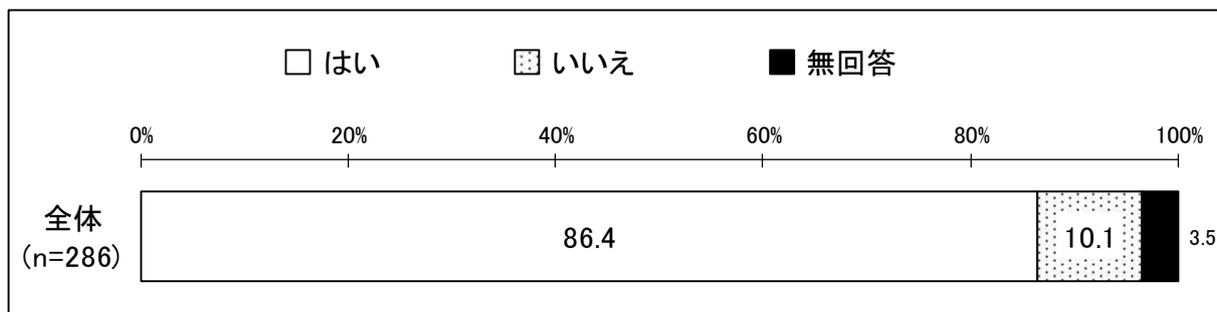
本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が71.7%、「いいえ」が24.1%となっています。



(12) 健康についての記事や番組への関心

問12. 健康についての記事や番組に関心がありますか。

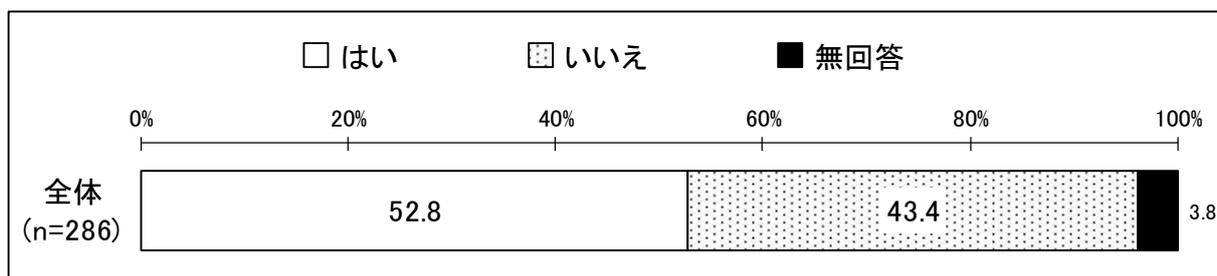
健康についての記事や番組への関心については、「はい」が86.4%、「いいえ」が10.1%となっています。



(13) 友人の家を訪ねているか

問13. 友人の家を訪ねていますか。

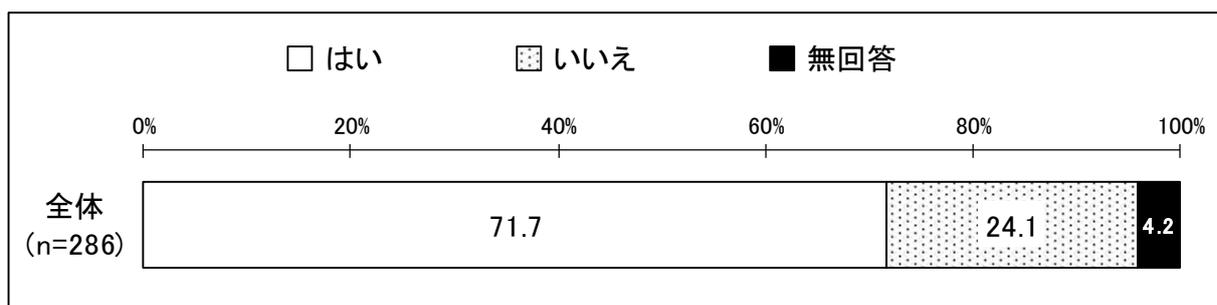
友人の家を訪ねているかについては、「はい」が52.8%、「いいえ」が43.4%となっています。



(14) 家族や友人の相談にのっているか

問14. 家族や友人の相談にのっていますか。

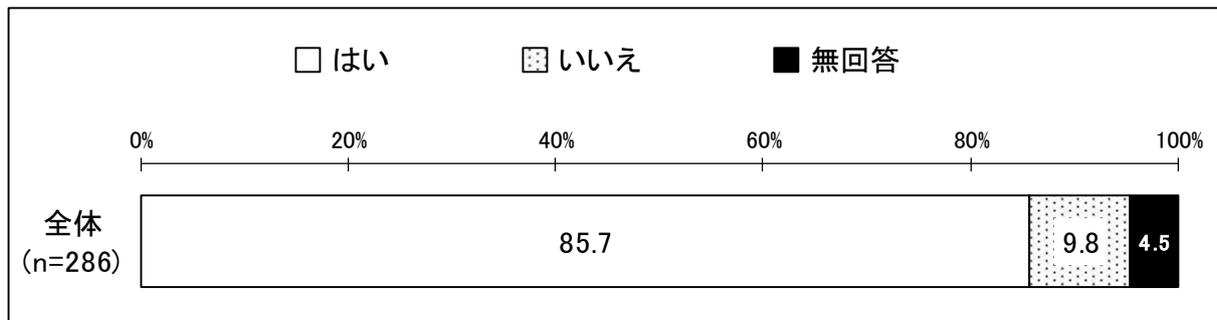
家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が71.7%、「いいえ」が24.1%となっています。



(15) 病人を見舞うことができるか

問15. 病人を見舞うことができますか。

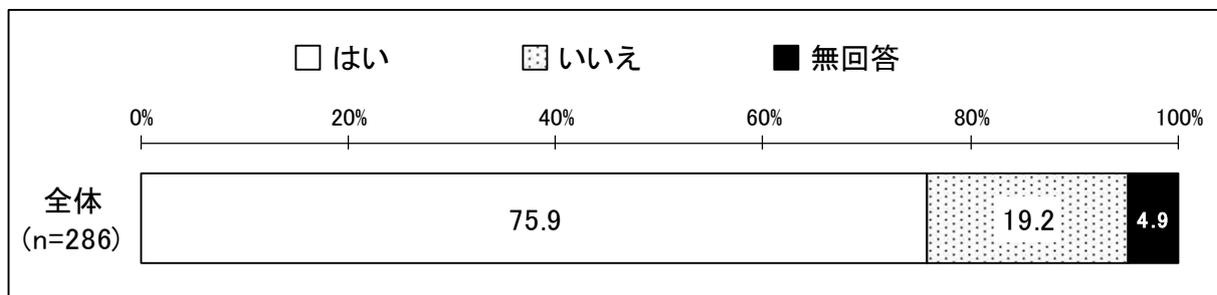
病人を見舞うことができるかについては、「はい」が85.7%、「いいえ」が9.8%となっています。



(16) 若い人に自分から話しかけるか

問16. 若い人に自分から話しかけることがありますか。

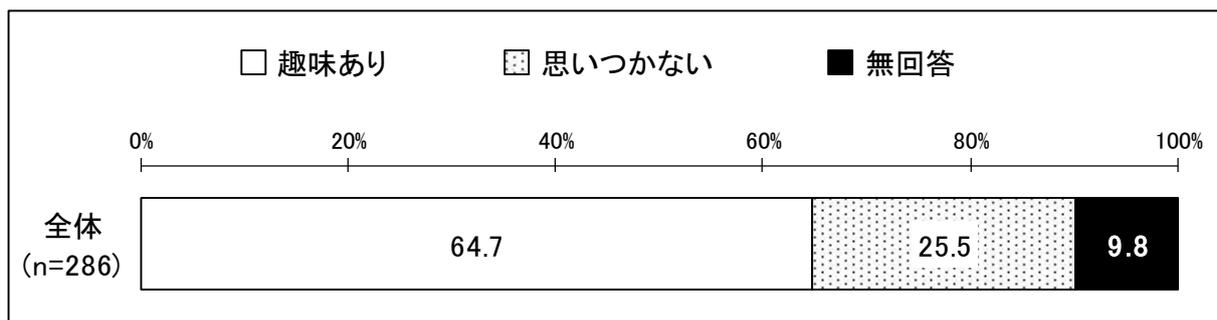
若い人に自分から話しかけるかについては、「はい」が75.9%、「いいえ」が19.2%となっています。



(17) 趣味の有無

問17. 趣味はありますか。

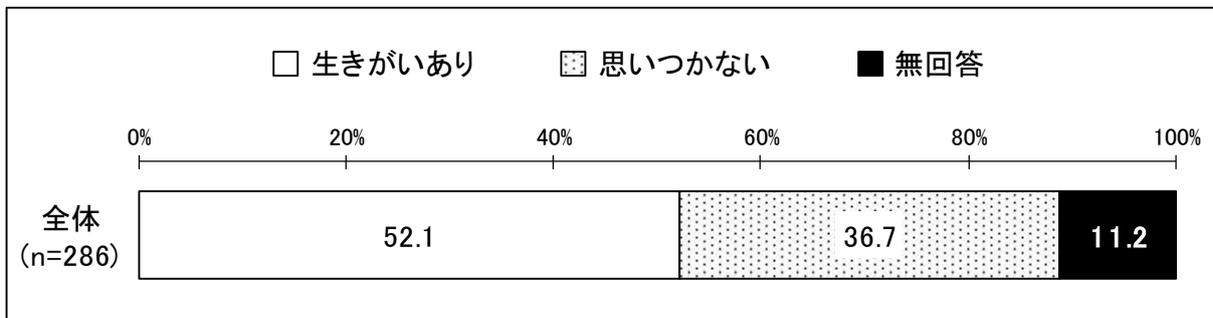
趣味の有無については、「趣味あり」が64.7%、「思いつかない」が25.5%となっています。



(18) 生きがいの有無

問18. 生きがいはありますか。

生きがいの有無については、「生きがいあり」が52.1%、「思いつかない」が36.7%となっています。



6. 地域での活動について

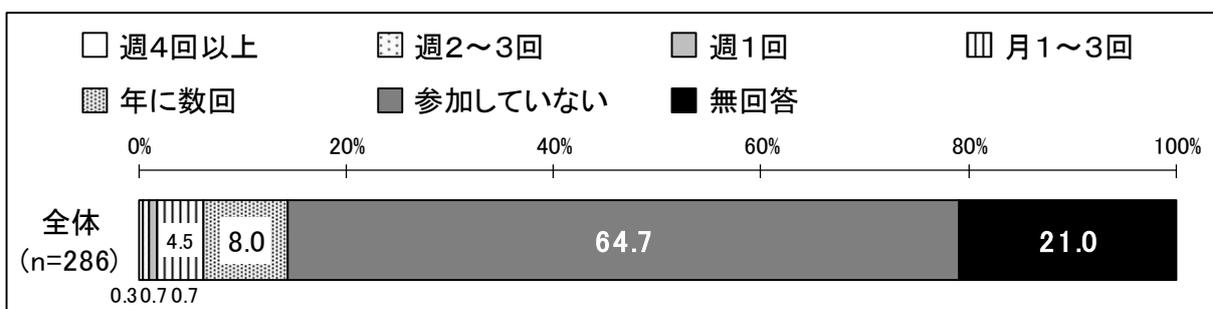
(1) 会・グループへの参加頻度

問1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

① ボランティアのグループ

ボランティアのグループの参加頻度については、「年に数回」が8.0%で最も高く、次いで「月1～3回」が4.5%となっています。

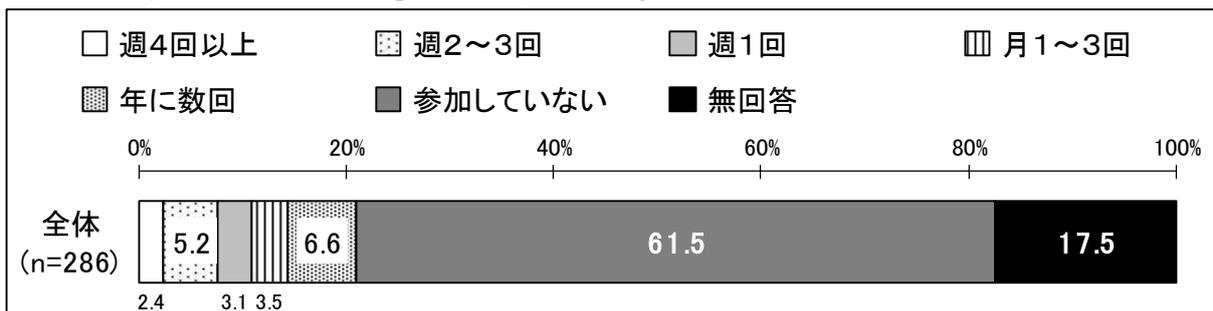
なお、「参加していない」は64.7%でした。



② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブの参加頻度については、「年に数回」が6.6%で最も高く、次いで「週2～3回」が5.2%、「月1～3回」が3.5%等の順となっています。

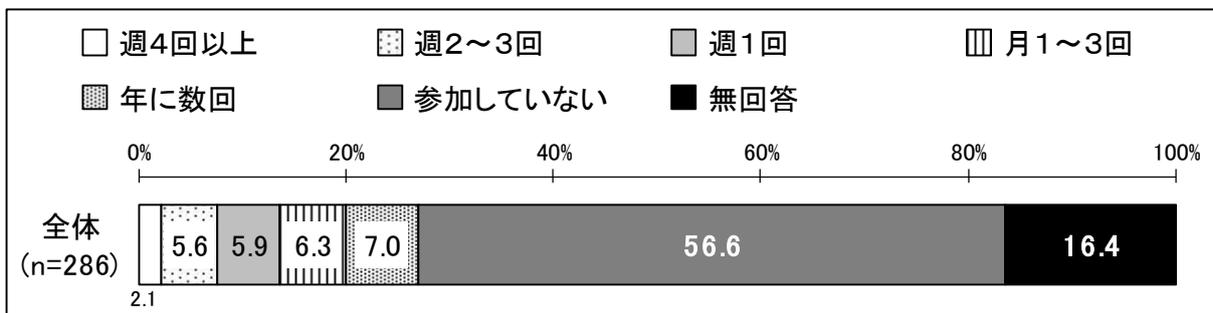
なお、「参加していない」は61.5%でした。



③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループの参加頻度については、「年に数回」が7.0%で最も高く、次いで「月1～3回」が6.3%、「週1回」が5.9%等の順となっています。

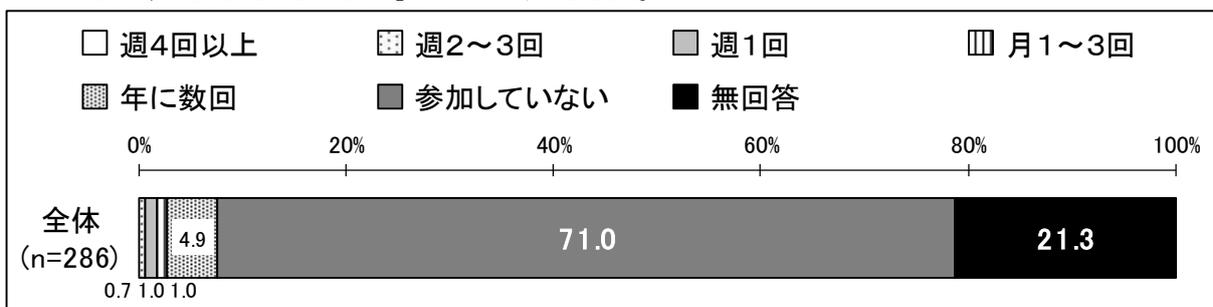
なお、「参加していない」は56.6%でした。



④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルの参加頻度については、「年に数回」が4.9%で最も高く、次いで「週1回」「月1～3回」が同率1.0%、「週2～3回」が0.7%等の順となっています。

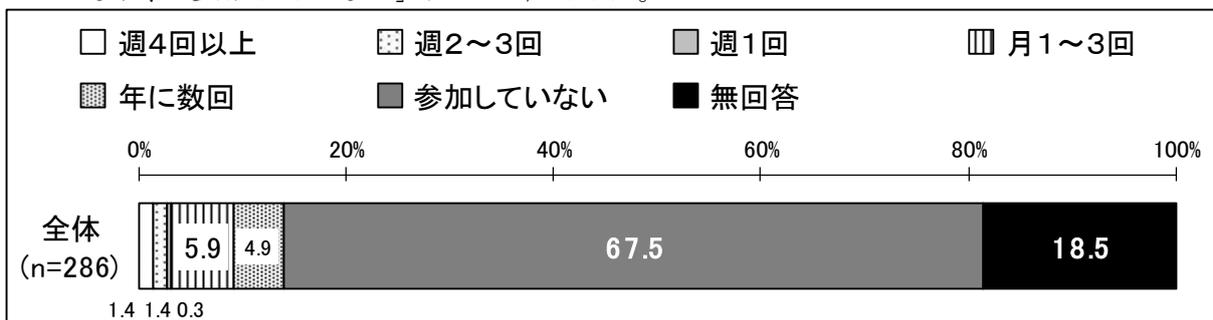
なお、「参加していない」は71.0%でした。



⑤ 社協の元気アップサロン・自治会サロンなど

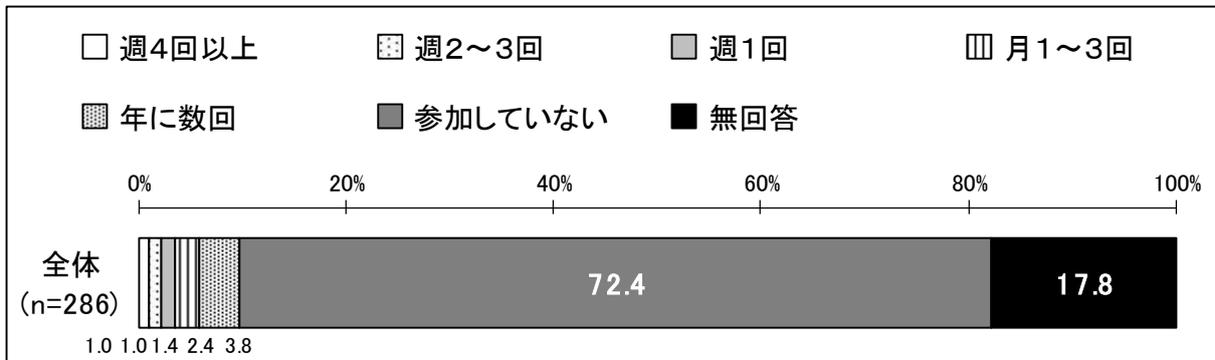
社協の元気アップサロン・自治会サロンなどについては、「月1～3回」が5.9%で最も高く、次いで「年に数回」が4.9%、「週4回以上」「週2～3回」が同率1.4%等の順となっています。

なお、「参加していない」は67.5%でした。



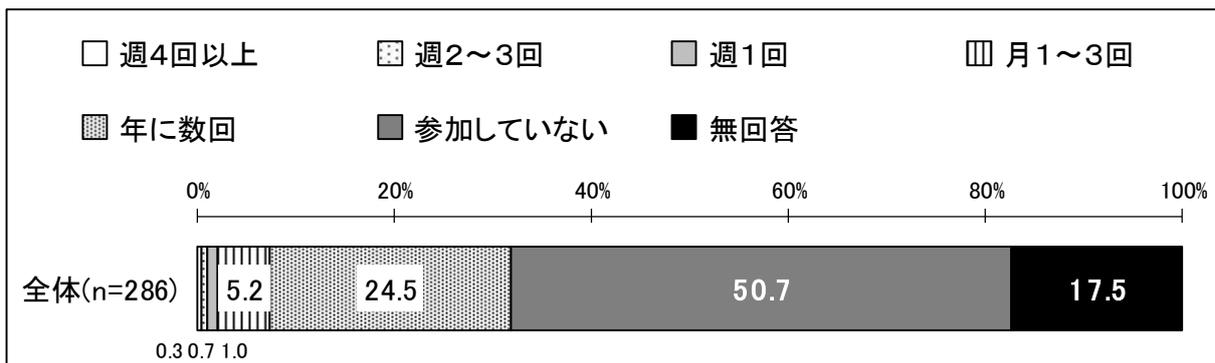
⑥ 老人クラブ

老人クラブの参加頻度については、「年に数回」が3.8%で最も高く、次いで「月1～3回」が2.4%、「週1回」が1.4%等の順となっています。
 なお、「参加していない」は72.4%でした。



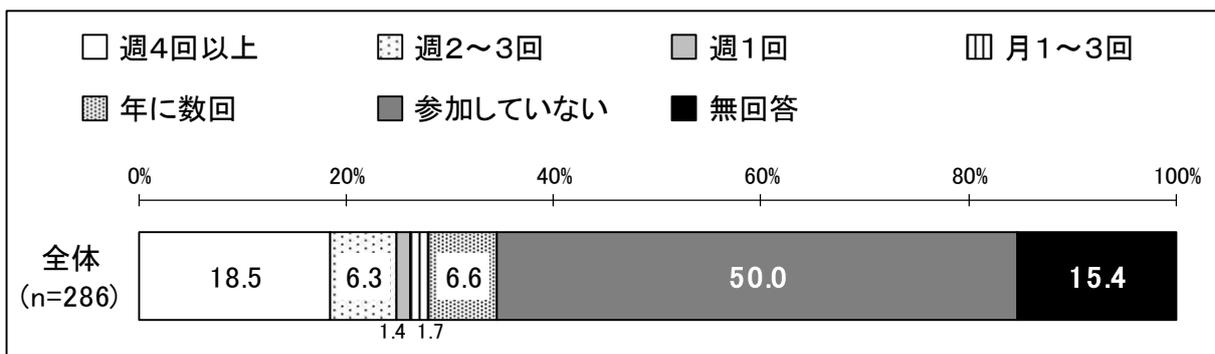
⑦ 自治会

自治会の参加頻度については、「年に数回」が24.5%で最も高く、「月1～3回」が5.2%、「週1回」が1.0%等の順となっています。
 なお、「参加していない」は50.7%でした。



⑧ 収入のある仕事

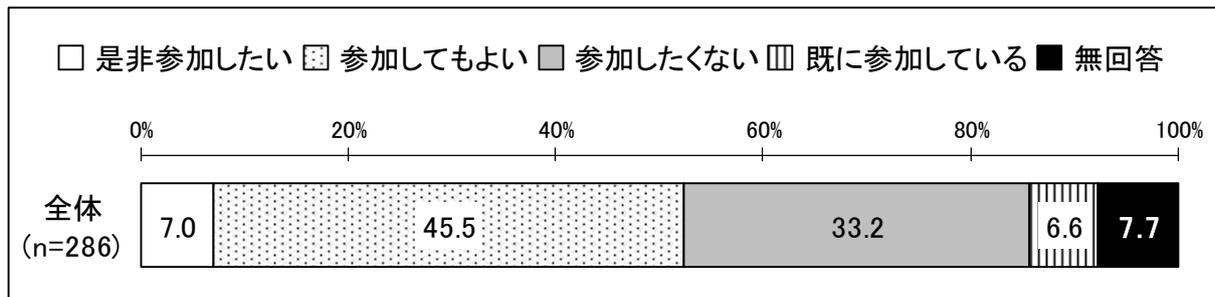
収入のある仕事の参加頻度については、「週4回以上」が18.5%で最も高く、次いで「年に数回」が6.6%、「週2～3回」が6.3%等の順となっています。
 なお、「参加していない」は50.0%でした。



(2) 地域活動への参加意向

問2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

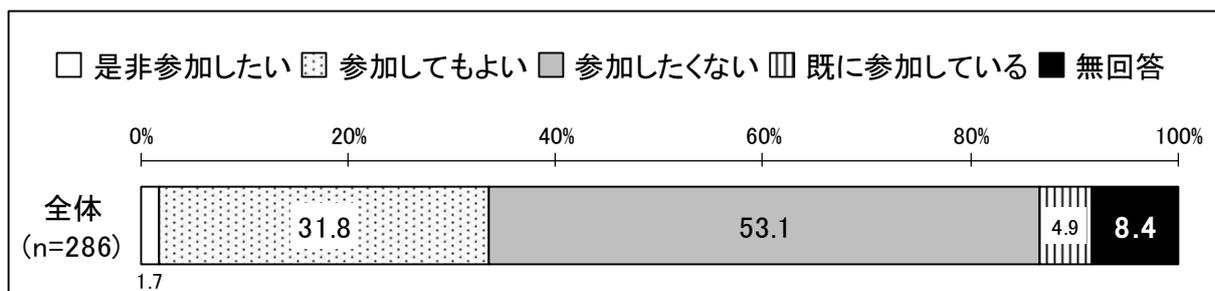
地域活動への参加意向については、「参加してもよい」が45.5%で最も高く、次いで「参加したくない」が33.2%、「是非参加したい」が7.0%、「既に参加している」が6.6%の順となっています。



(3) 地域活動の企画・運営としての参加意向

問3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

地域活動の企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が53.1%で最も高く、次いで「参加してもよい」が31.8%、「既に参加している」が4.9%、「是非参加したい」が1.7%の順となっています。

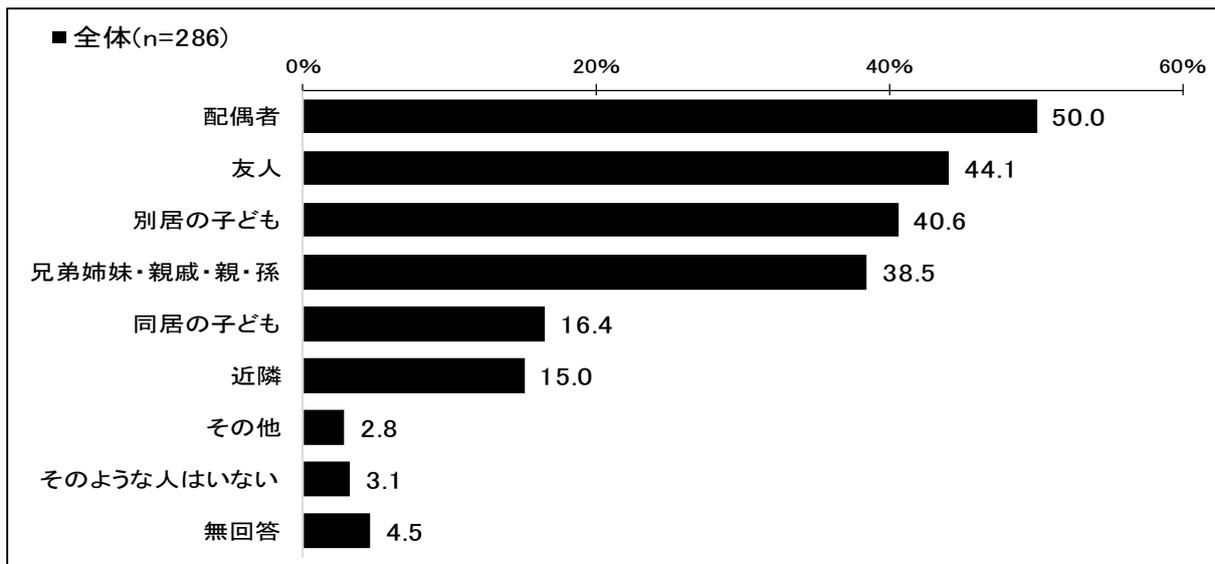


7. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。【複数回答可】

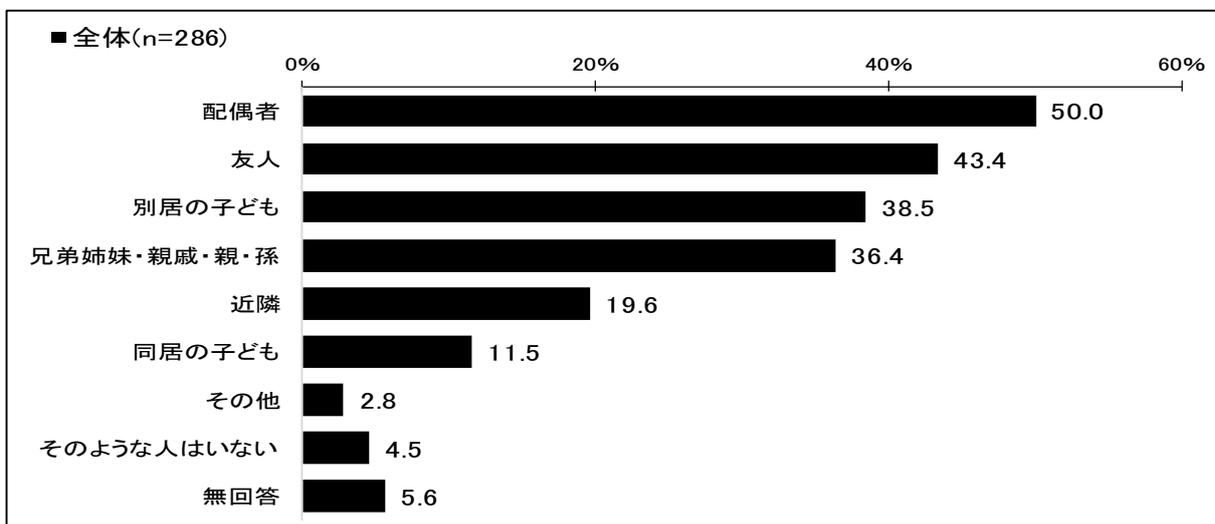
心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が50.0%で最も高く、次いで「友人」が44.1%、「別居の子ども」が40.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が38.5%等の順となっています。



(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。【複数回答可】

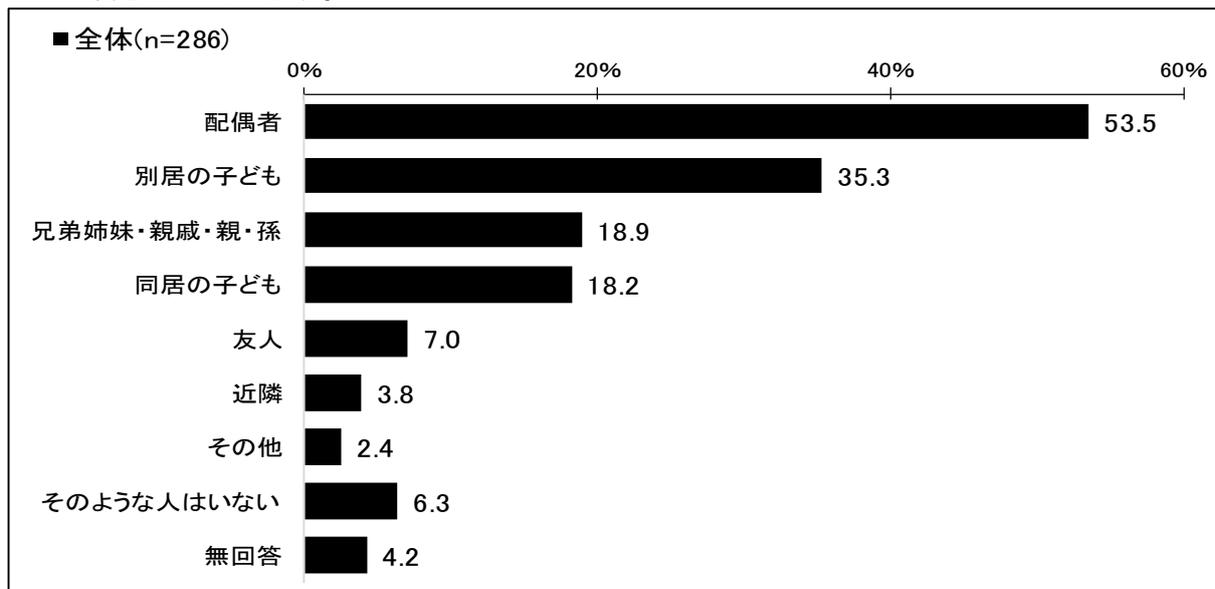
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が50.0%で最も高く、次いで「友人」が43.4%、「別居の子ども」が38.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が36.4%等の順となっています。



(3) 寝込んだ時に世話をしてくれる人

問3. あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はいますか。
【複数回答可】

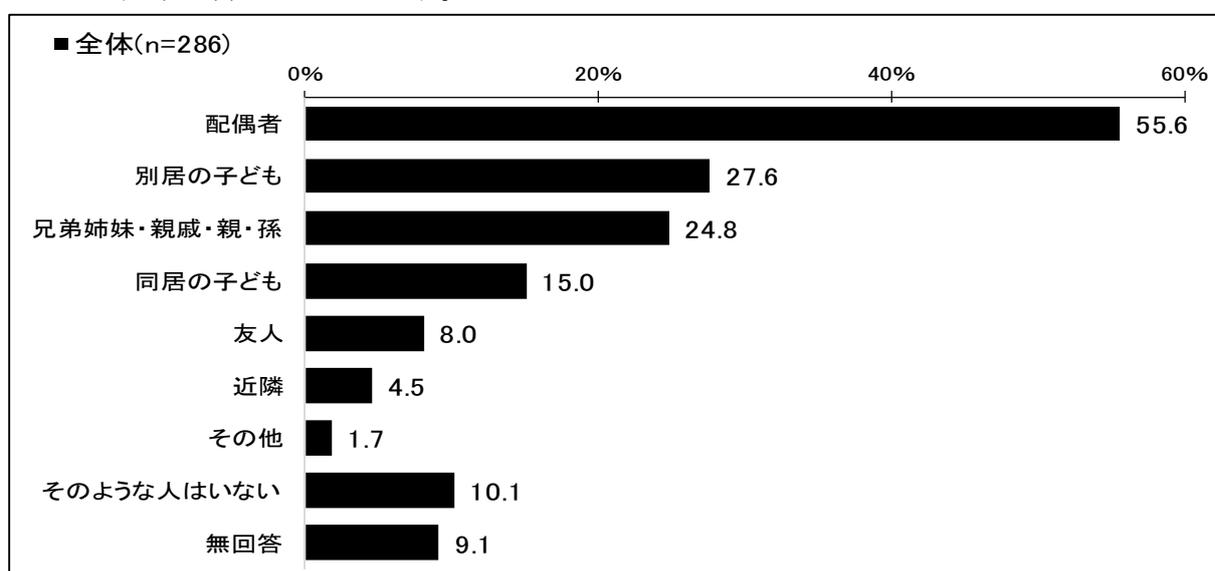
寝込んだ時に世話をしてくれる人については、「配偶者」が53.5%で最も高く、「別居の子ども」が35.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.9%、「同居の子ども」が18.2%等の順となっています。



(4) 寝込んだ時に世話をしてあげる人

問4. 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。【複数回答可】

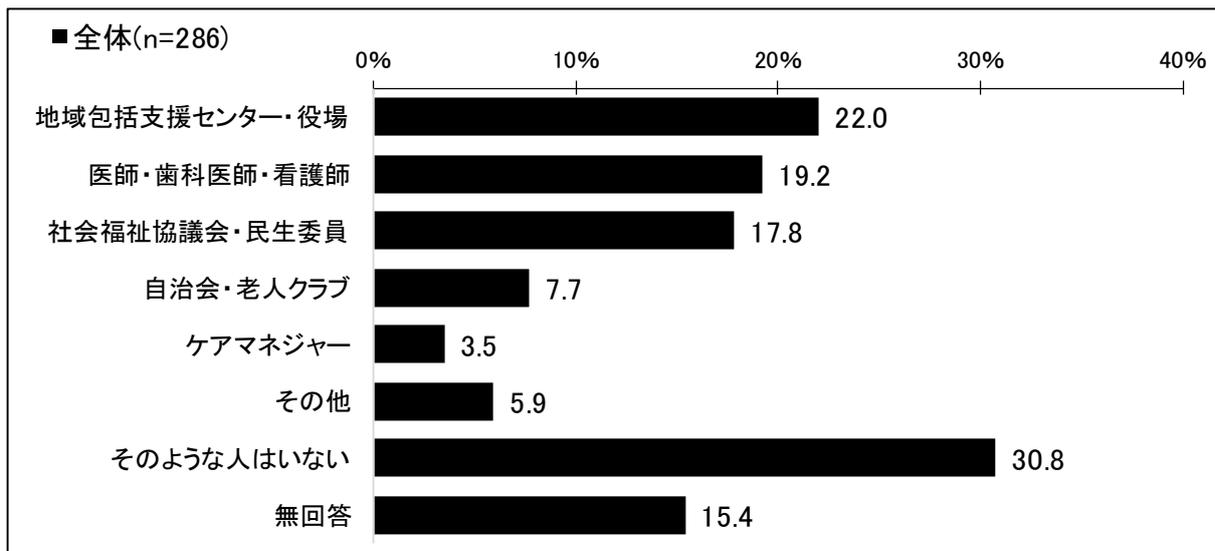
寝込んだ時に世話をしてあげる人については、「配偶者」が55.6%で最も高く、次いで「別居の子ども」が27.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が24.8%、「同居の子ども」が15.0%等の順となっています。



(5) 相談する人（家族や友人以外）

問5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
【複数回答可】

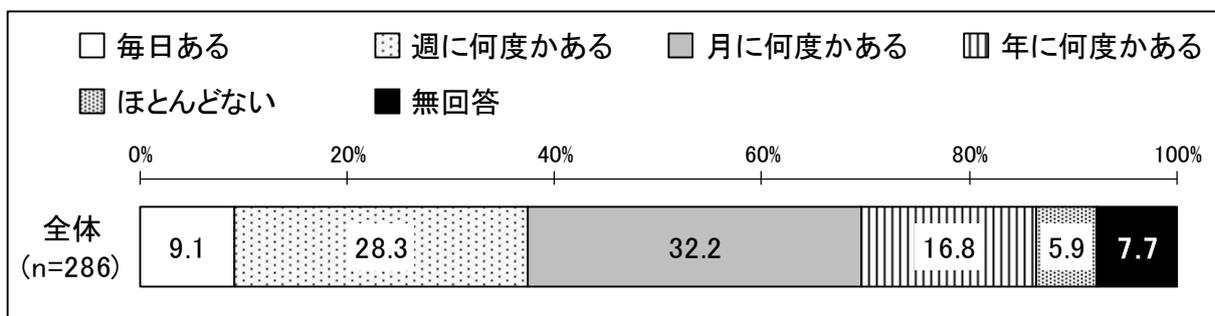
相談する人（家族や友人以外）については、「地域包括支援センター・役場」が22.0%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が19.2%、「社会福祉協議会・民生委員」が17.8%等の順となっています。
なお、「そのような人はいない」は30.8%でした。



(6) 友人・知人と会う頻度

問6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

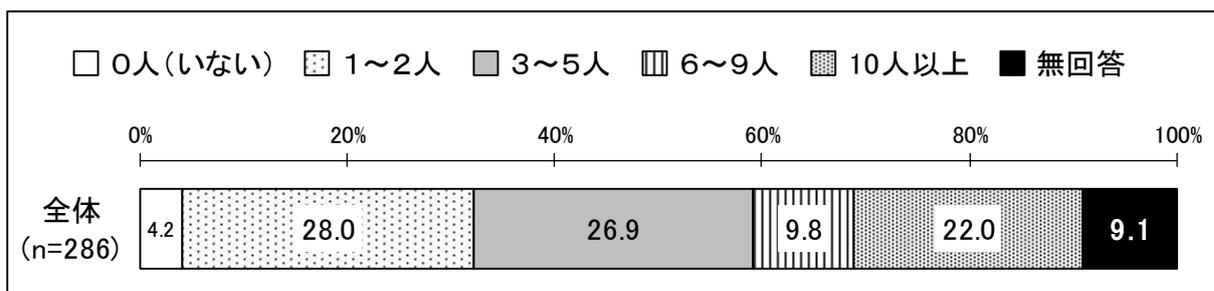
友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が32.2%で最も高く、次いで「週に何度かある」が28.3%、「年に何度かある」が16.8%、「毎日ある」が9.1%、「ほとんどない」が5.9%の順となっています。



(7) この1か月間に会った友人・知人の数

問7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

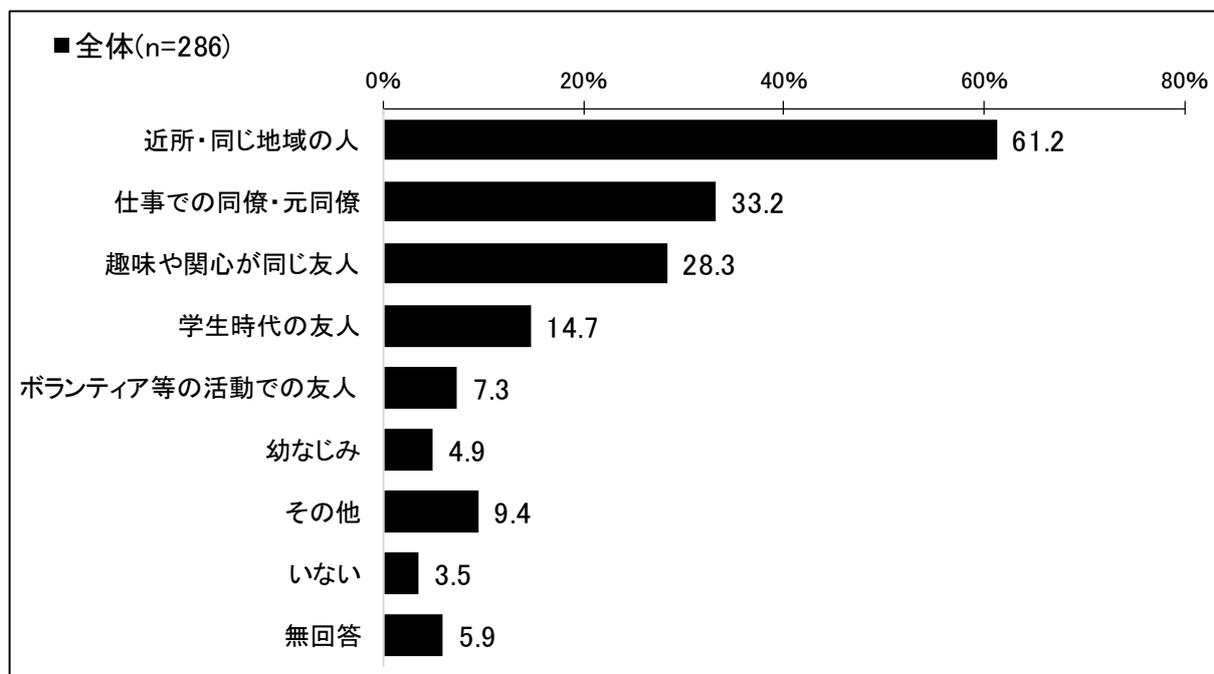
この1か月間に会った友人・知人の数については、「1～2人」が28.0%で最も高く、次いで「3～5人」が26.9%、「10人以上」が22.0%、「6～9人」が9.8%、「0人(いない)」が4.2%の順となっています。



(8) よく会う友人・知人の関係

問8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【複数回答可】

よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が61.2%で最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が33.2%、「趣味や関心が同じ友人」が28.3%、「学生時代の友人」が14.7%等の順となっています。

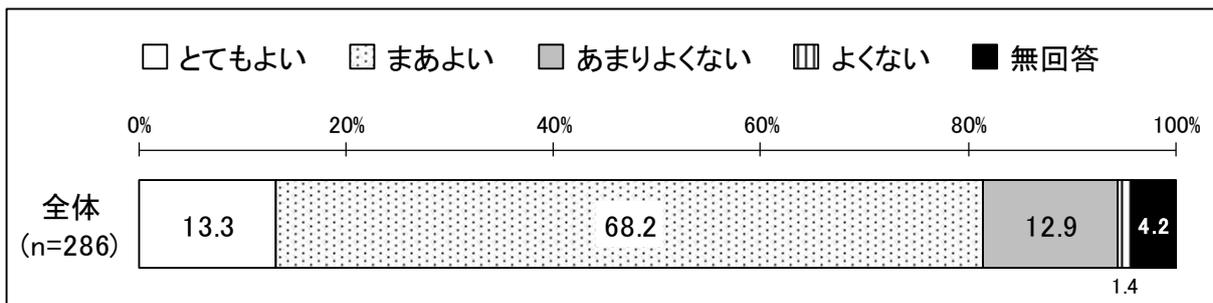


8. 健康について

(1) 現在の健康状態

問1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

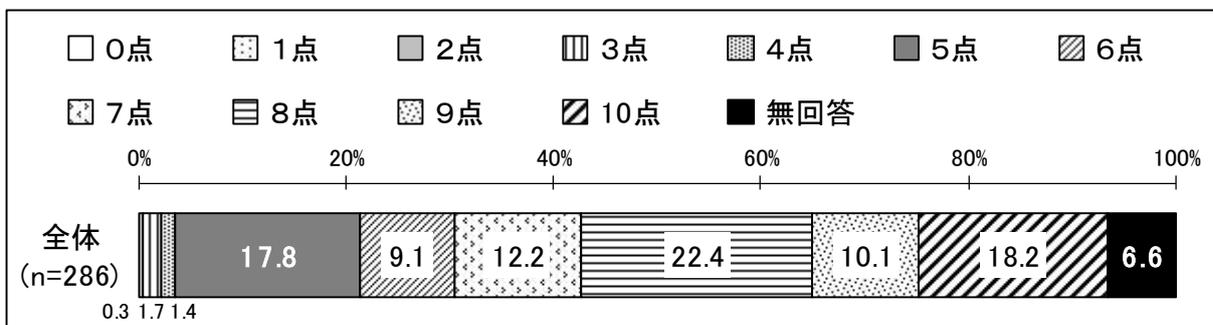
現在の健康状態については、「まあよい」が68.2%で最も高く、「とてもよい」が13.3%、「あまりよくない」が12.9%、「よくない」が1.4%の順となっています。



(2) 現在の幸福度

問2. あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。

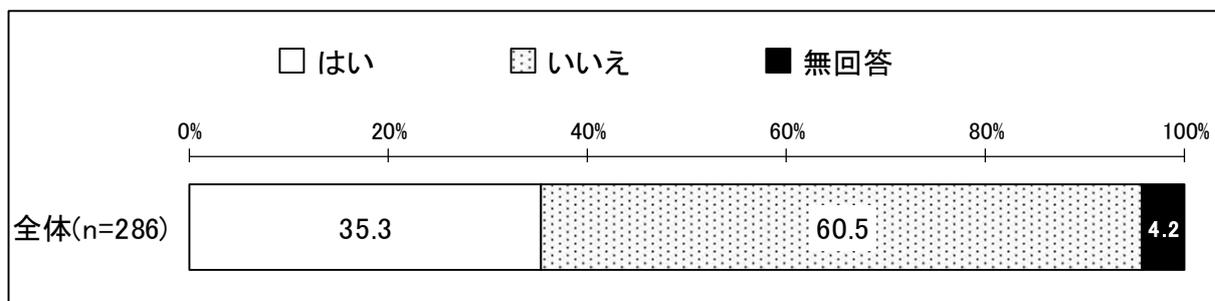
現在の幸福度については、「8点」が22.4%で最も高く、次いで「10点」が18.2%、「5点」が17.8%、「7点」が12.2%、「9点」が10.1%、「6点」が9.1%、「3点」が1.7%、「4点」が1.4%、「2点」が0.3%の順となっています。



(3) 直近1か月間、ゆううつな気持ちになることがあったか

問3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

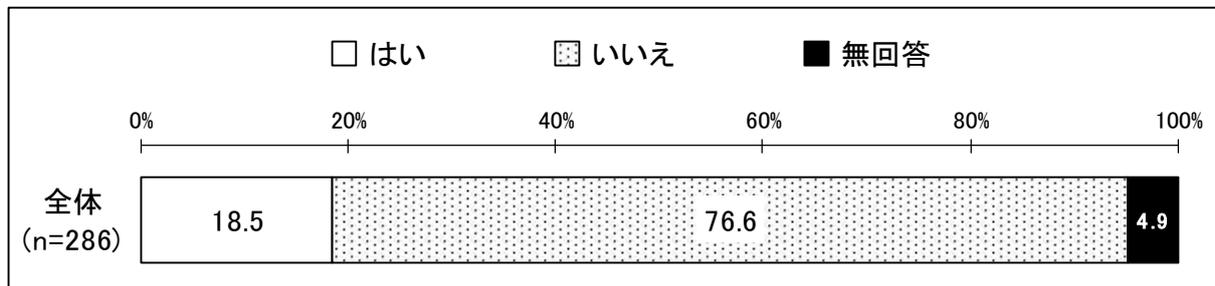
直近1か月間、ゆううつな気持ちになることがあったかについては、「はい」が35.3%、「いいえ」が60.5%となっています。



(4) 直近1か月間、物事に対する興味がわからない感じがあったか

問4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

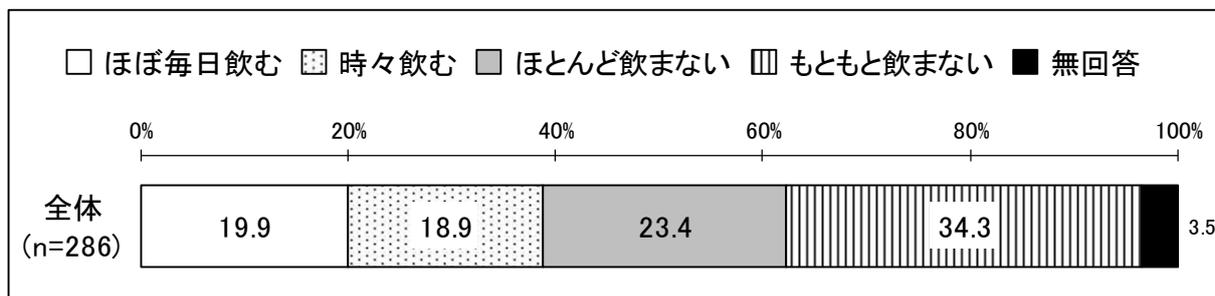
直近1か月間、物事に対する興味がわからない感じがあったかについては、「はい」が18.5%、「いいえ」が76.6%となっています。



(5) 飲酒頻度

問5. お酒は飲みますか。

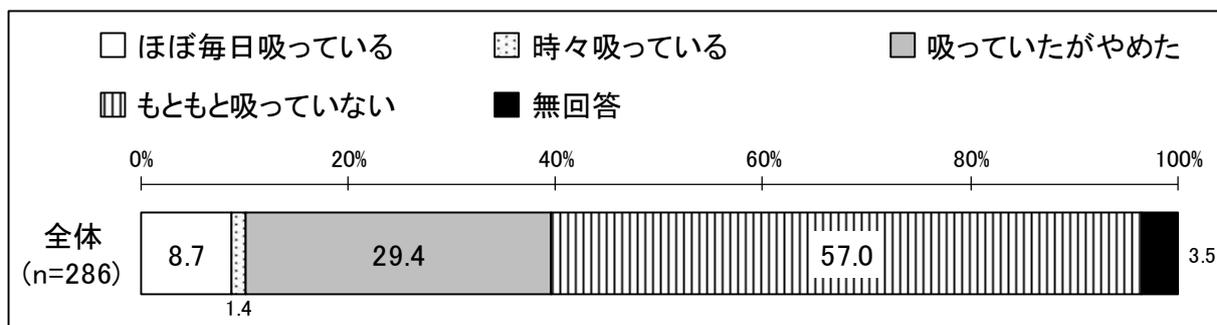
飲酒頻度については、「もともと飲まない」が34.3%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が23.4%、「ほぼ毎日飲む」が19.9%、「時々飲む」が18.9%の順となっています。



(6) 喫煙状況

問6. タバコは吸っていますか。

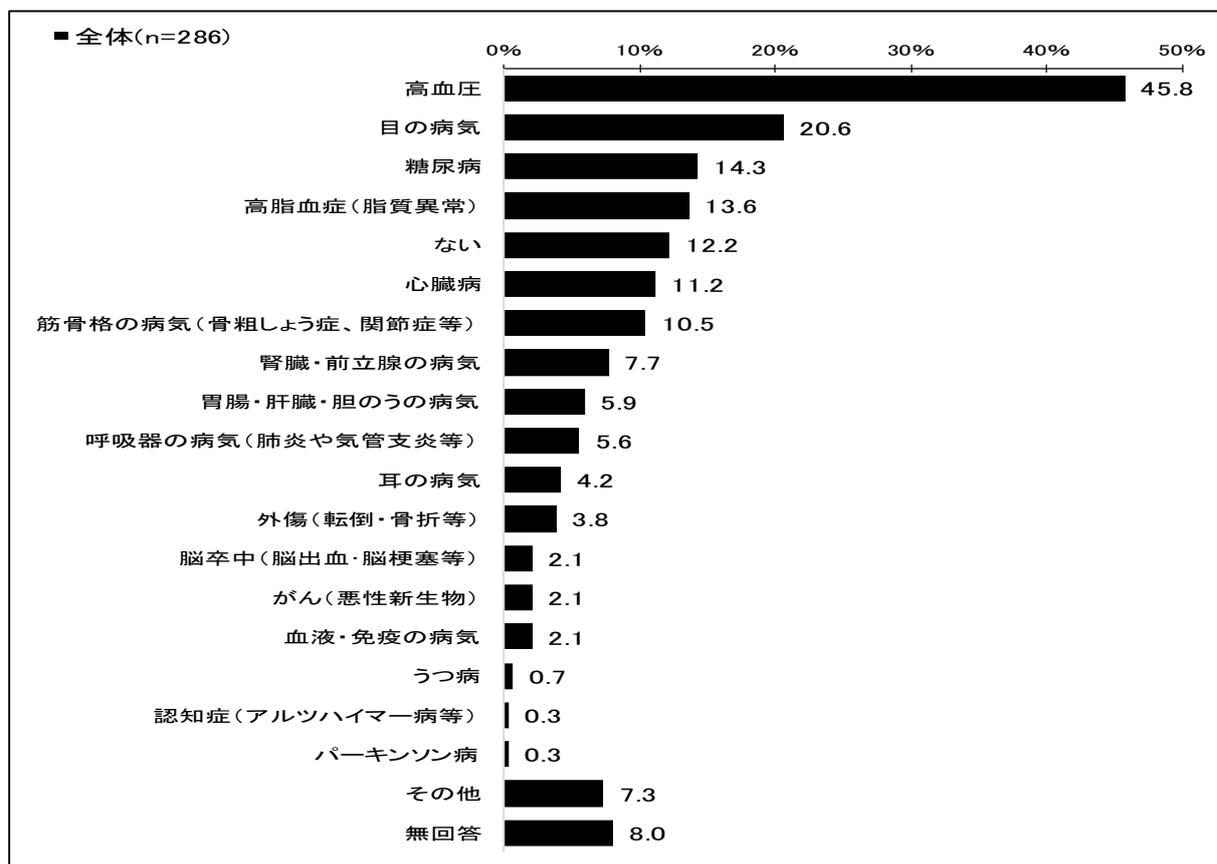
喫煙状況については、「もともと吸っていない」が57.0%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.4%、「ほぼ毎日吸っている」が8.7%、「時々吸っている」が1.4%の順となっています。



(7) 現在治療中、後遺症のある病気

問7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答可】

現在治療中、後遺症のある病気については、「高血圧」が45.8%で最も高く、次いで「目の病気」が20.6%、「糖尿病」が14.3%、「高脂血症（脂質異常）」が13.6%等の順となっています。

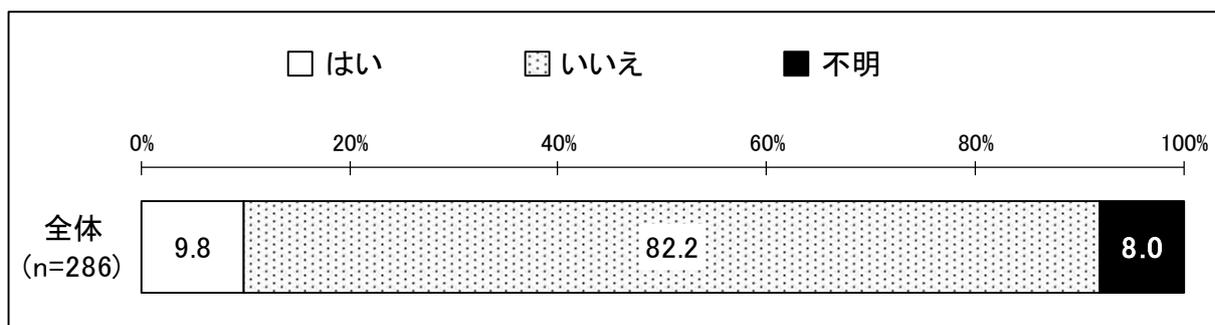


9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状の有無

問1. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

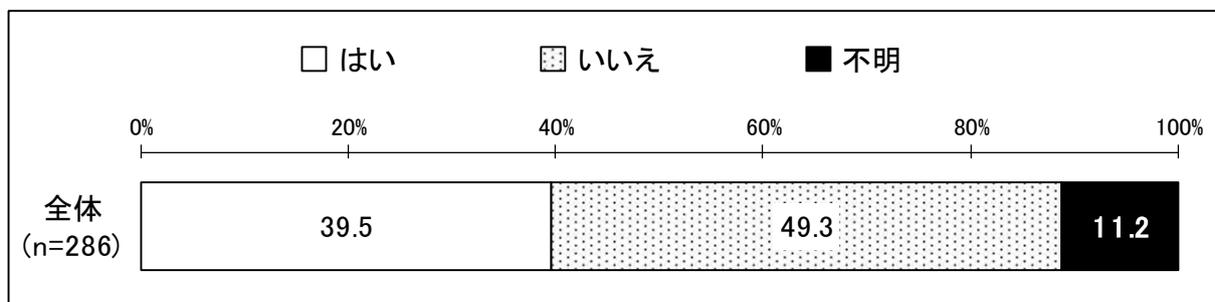
認知症の症状の有無については、「はい」が9.8%、「いいえ」が82.2%となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

問2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい」が39.5%、「いいえ」が49.3%となっています。

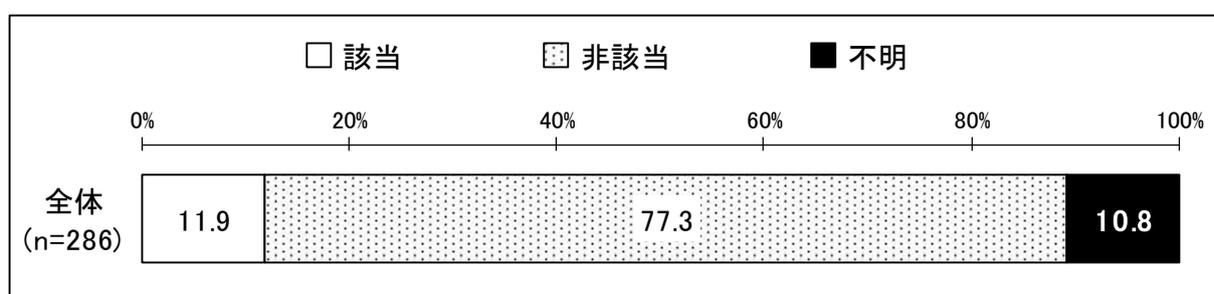


10. リスク判定

(1) 運動器リスク判定

設問	該当する選択肢
【3】問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「できない」
【3】問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「できない」
【3】問3 15分位続けて歩いていますか。	「できない」
【3】問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」「1度ある」
【3】問5 転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」「やや不安である」
上記3問以上該当でリスクあり	

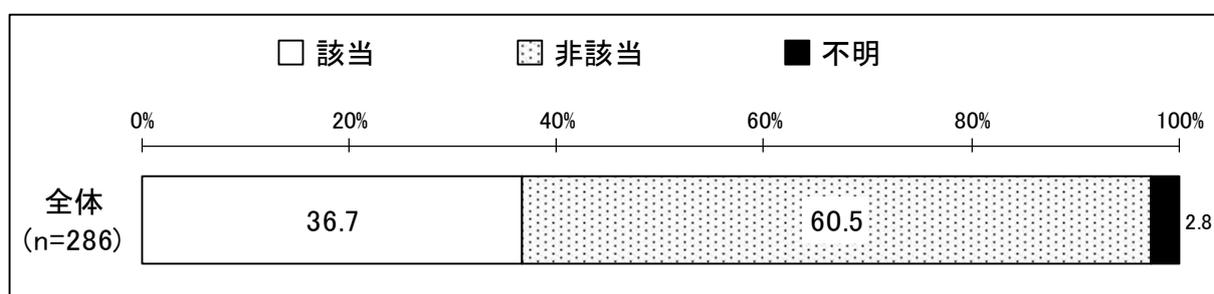
運動器リスク判定については、「該当」が11.9%、「非該当」が77.3%となっています。



(2) 転倒リスク判定

設問	該当する選択肢
【3】問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」「1度ある」
上記該当でリスクあり	

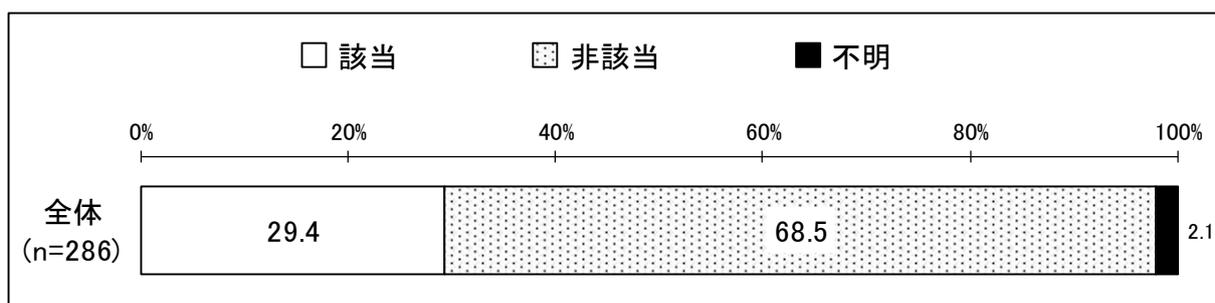
転倒リスク判定は、「該当」が36.7%、「非該当」が60.5%となっています。



(3) 閉じこもりリスク判定

設問	該当する選択肢
【3】問6 週に1回以上は外出していますか。	「ほとんど外出しない」 「週1回」
上記該当でリスクあり	

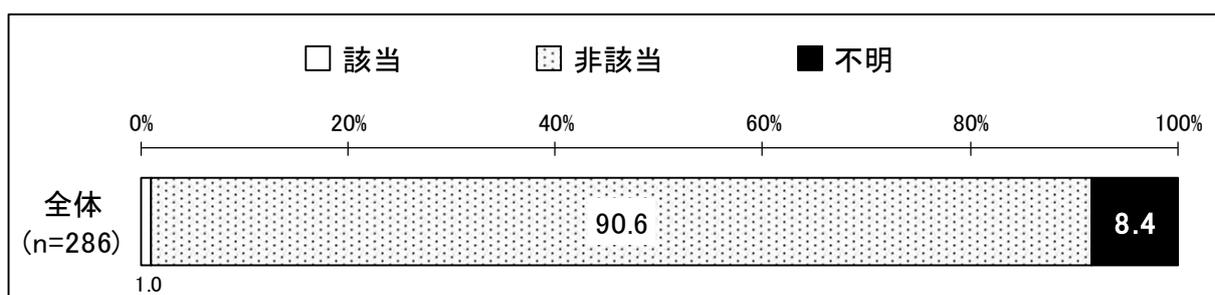
閉じこもりリスク判定は、「該当」が29.4%、「非該当」が68.5%となっています。



(4) 栄養改善リスク判定

設問	該当する選択肢
【4】問1 身長・体重からBMIを算出	「BMI 18.5以下」
【4】問8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	「はい」
上記2問該当でリスクあり	

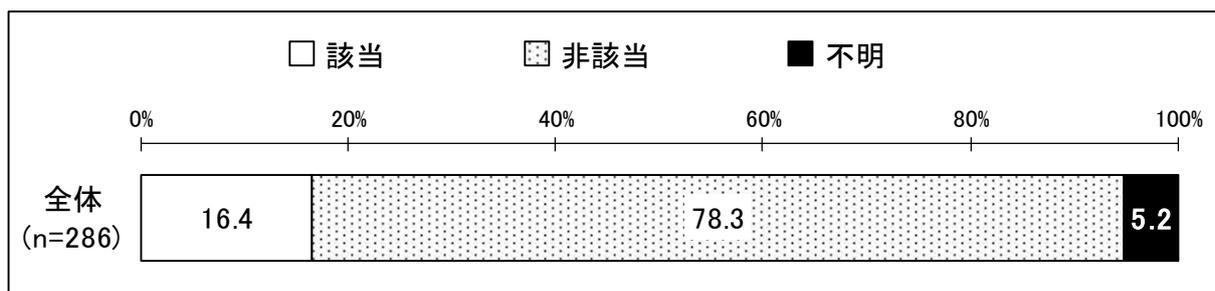
栄養改善リスク判定は、「該当」が1.0%、「非該当」が90.6%となっています。



(5) 口腔機能リスク判定

設問	該当する選択肢
【4】問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「はい」
【4】問3 お茶や汁物等でむせることがありますか。	「はい」
【4】問4 口の渇きが気になりますか。	「はい」
上記2問以上該当でリスクあり	

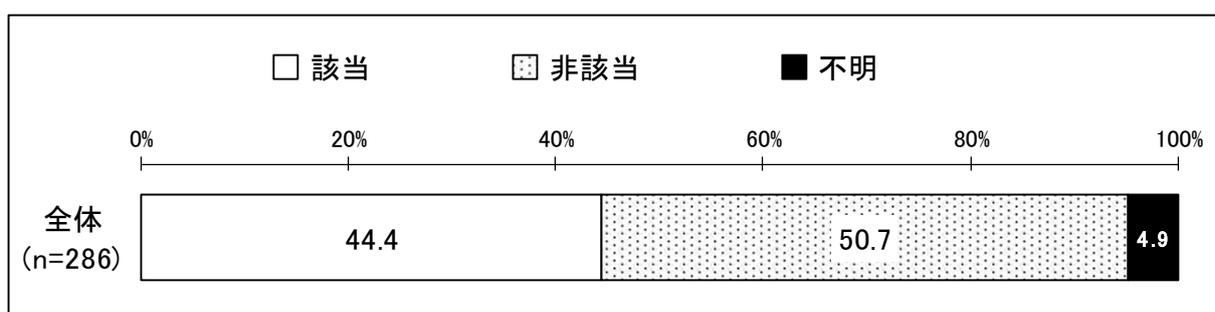
口腔機能リスク判定は、「該当」が16.4%、「非該当」が78.3%となっています。



(6) 認知機能リスク判定

設問	該当する選択肢
【5】問1 物忘れが多いと感じますか。	「はい」
上記該当でリスクあり	

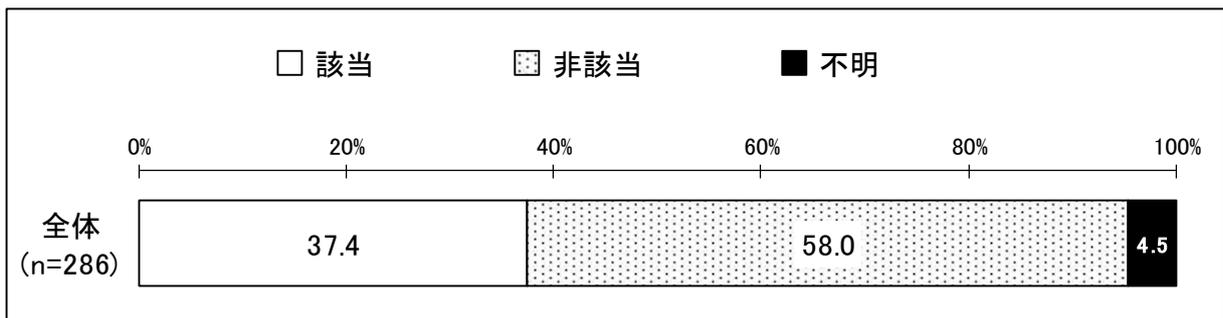
認知機能リスク判定は、「該当」が44.4%、「非該当」が50.7%となっています。



(7) うつ傾向リスク判定

設問	該当する選択肢
【8】問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
【8】問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「はい」
上記いずれか1つに該当でリスクあり	

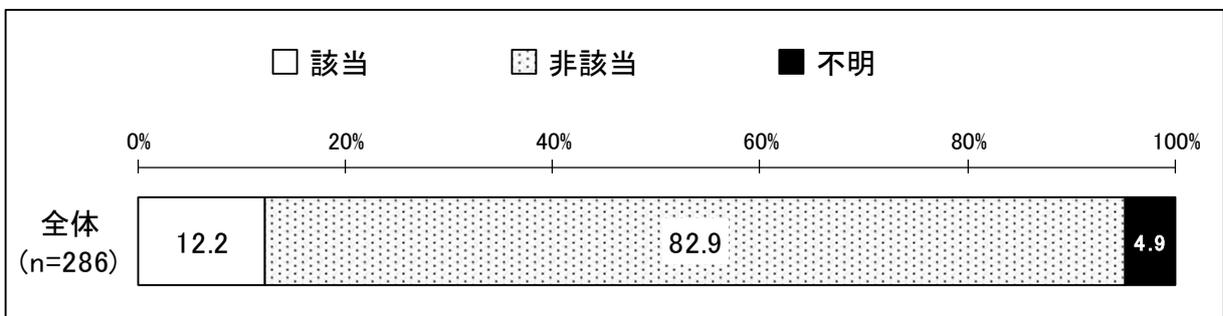
うつ傾向リスク判定は、「該当」が37.4%、「非該当」が58.0%となっています。



(8) IADLリスク判定

設問	該当する選択肢
【5】問4 バスや鉄道を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」 「できるけど、していない」
【5】問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
【5】問6 自分で食事の用意をしていますか。	
【5】問7 自分で請求書の支払いをしていますか。	
【5】問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	
1問該当で1点とし、5点＝「高い」、4点＝「やや低い」、3点以下＝「低い」 4点以下がリスク者とする	

IADLリスク判定は、「該当」が12.2%、「非該当」が82.9%となっています。



2 用語解説

この用語解説は、本計画を策定するに当たって用いられる用語と、介護保険、高齢者保健福祉等で広く用いられている用語を掲載します。

あ行

●アセスメント

要介護認定の為の事前評価、初期評価。一般的には環境分野において使用される用語だが、福祉分野においては福祉利用者が直面している問題や状況の本質、原因、経過、予測を理解する為に、援助活動に先立って行われる一連の手続きを指す。

●SOSネットワーク

行方不明になる可能性がある高齢者の情報を事前に登録し、事案が発生した時にすみやかに発見・保護し、その後の生活を支援していくシステム。

か行

●外国人介護福祉人材育成支援協議会

日本で介護福祉の仕事に就きたいという外国人を支援・育成することで、参加自治体における介護人材の不足問題を解決するための協議会。

●介護給付

被保険者の要介護状態に関する保険給付。

●介護給付等対象サービス

介護給付等に係る居宅サービス、地域密着型サービス、居宅介護支援もしくは施設サービス。

●介護サービス計画（ケアプラン）

居宅介護サービス計画と施設介護サービス計画の総称。

●介護支援専門員（ケアマネジャー）

介護支援専門員は、主に指定居宅介護支援事業者及び介護保険施設に配置。

指定居宅介護支援事業者の介護支援専門員は、要介護者等からの相談に応じ、要介護者等がその心身の状況等に応じ適切な居宅サービスまたは施設サービスを利用できるよう市町村、居宅サービス事業を行う者等との連絡調整等を行う者であって、要介護者等が自立した

日常生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識及び技術を有する者で、居宅サービス計画作成等の業務を行う。

介護保険施設の介護支援専門員は、施設サービス計画の作成等、施設利用者の居宅復帰を含めた業務を行う。

●介護認定審査会

認定等に係る審査判定業務を行うために市町村に設置される機関で、委員は保健、医療または福祉に関する学識経験を有する者のうちから市町村長が任命する。

●介護報酬

介護報酬とは、厚生労働大臣が定める基準により算定される保険給付の対象となる各種介護サービスの費用額。

●介護予防・生活支援事業

介護保険制度の円滑な実施の観点から、高齢者ができる限り寝たきりなどの要介護状態に陥ったり、状態が悪化することがないようにすること（介護予防）や自立した生活を確保するために必要な支援を行うこと（生活支援）。

●介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域で支え合う体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指す事業。

●介護保険

介護保険は、被保険者の要介護状態または要介護状態となる恐れがある状態に関し、必要な保険給付を行う。保険者は市町村及び特別区であり、第1号被保険者は市町村の区域内に住所を有する65歳以上の者、第2号被保険者は市町村の区域内に住所を有する40歳以上65歳未満の医療保険加入者。

●介護保険施設

介護保険法に基づいて設置される、介護保険サービスを提供するための施設。指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院及び指定介護療養型医療施設。

●介護予防ケアマネジメント

地域包括支援センターにおいて介護予防事業の対象となる者に対する介護予防ケアプランの作成などの介護予防サービスの利用に要する業務。

●介護予防サービス

要支援者に対して状態の維持・改善を目的とし、利用者の目標を明確にした上でその目標の達成のために提供されるサービス。

- ①介護予防訪問入浴介護
- ②介護予防訪問看護
- ③介護予防訪問リハビリテーション
- ④介護予防居宅療養管理指導
- ⑤介護予防通所リハビリテーション
- ⑥介護予防短期入所生活介護
- ⑦介護予防短期入所療養介護
- ⑧介護予防特定施設入居者生活介護
- ⑨介護予防福祉用具貸与

●介護予防事業

市町村に居住地を有する第1号被保険者を対象として、要介護状態等となることの予防または要介護状態等の軽減・悪化の防止を目的として実施される事業。

●居宅介護サービス計画費

居宅要介護者等が指定居宅介護支援事業者から介護サービス計画（ケアプラン）の作成を受けた場合に、保険者はその要した費用について居宅介護サービス費を支給。

●居宅介護サービス費

居宅要介護者等が指定居宅サービス事業者から指定居宅介護サービスを受けた場合に、保険者はその要した費用について居宅介護サービス費を支給。

●居宅介護支援事業者

居宅介護サービスを受ける際の介護サービス計画を作成する介護支援専門員を配置し、指定居宅サービス事業者等との連絡調整等を行う事業者。

●居宅介護サービス

居宅介護サービスとは、次のサービスをいいます。

- ①訪問介護
- ②訪問入浴介護
- ③訪問看護
- ④訪問リハビリテーション
- ⑤居宅療養管理指導
- ⑥通所介護
- ⑦通所リハビリテーション
- ⑧短期入所生活介護
- ⑨短期入所療養介護
- ⑩認知症対応型共同生活介護
- ⑪特定施設入所者生活介護
- ⑫福祉用具貸与

●居宅介護サービス計画

居宅介護サービス計画とは、居宅の要介護者等の依頼を受けて作成するもので、その心身の状況、その置かれている環境、当該居宅要介護者及びその家族の希望を勘案し、利用する居宅サービス等の種類及び内容等を定めた計画。

●ケアマネジメント

居宅の要介護者等に関し、サービスの提供が確保されるよう、介護サービス計画を作成するとともに、指定居宅サービス事業者等との連絡調整その他の便宜の提供を行い、介護保険

施設への入所を要する場合には、当該施設への紹介その他の便宜の提供を行うこと。

●軽費老人ホーム

低額な料金で高齢者を入所させ、食事の提供その他日常生活上必要な便宜を提供する老人福祉施設。A型、B型およびケアハウスの3種類がある。

●KDB（国保データベース）システム

国民健康保険保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、国民健康保険団体連合会が「健診・保健指導」、「医療」、「介護」の各種データを利活用して、①「統計情報」・②「個人の健康に関するデータ」を作成するシステム。

●高額医療合算介護サービス費

介護サービス費と医療費の自己負担額が一定の限度額を超えた場合、超えた分が払い戻される。

●高額介護サービス費

要介護者等が居宅サービスや施設サービスを利用し、支払った自己負担額が一定の限度額を超えた場合、超えた分が払い戻される。

●高齢者

65歳以上の者。また、そのうち、65歳から74歳までを前期高齢者、75歳以上を後期高齢者という。

●高齢社会

総人口に対して高齢者（65歳以上の者）の割合が高くなっている社会。

国際連合の分類では、65歳以上人口の比率が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた場合を「高齢社会」、20%を超えた場合を「超高齢社会」としている。

さ行

●財政安定化基金

市町村の保険財政の安定化を図り、一般会計からの繰入を回避することを目的とし、国、都道府県、市町村が各3分の1ずつ拠出して設置する基金。

●作業療法士

体や精神に障害のある人がその心身機能を回復し、日常生活・社会生活に復帰できるように、食事、歯みがきなど日常生活の動作、家事、芸術活動、遊び、スポーツといった生活の中における作業や動作などを用いて訓練・指導・援助を行う医療技術者

●事業対象者

65歳以上の方で、心身の状況、そのおかれている環境その他の状況から、要支援（要介護）状態となることを予防するための援助を行う必要があると「基本チェックリスト」の実施により該当した方。

●施設介護サービス費

保険者は、要介護被保険者が介護保険施設において指定施設サービス等を受けた時は、要した費用について施設介護サービス費を支給。

●施設サービス

介護老人福祉施設サービス、介護老人保健施設サービス、介護医療院サービス及び介護療養型医療施設サービスのこと。

●施設サービス計画

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院または介護療養型医療施設に入所している要介護者について、これらの施設が提供するサービスの内容等を定めた計画。

●社会福祉士

身体や精神の障がいあるいは環境上の理由等により日常生活を営むことに支障がある人の福祉に関する相談援助を行う専門職の国家資格。

●住所地特例

介護保険施設に入所することにより当該介護保険施設の所在地に住所を変更した場合であっても、入所する前に、他の市町村の区域内に住所を有していたと認められるときは入所する前の市町村の被保険者となる。ただし、2以上の介護保険施設に継続して入所している等で、これに該当しない場合もある。

●主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）

新人ケアマネジャーの指導・育成・相談や介護が必要な方のケアプランを作成する際のケアマネジャーへの支援や相談をするケアマネジャーのまとめ役的存在になる専門職。

●生活支援コーディネーター

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす者。

●生活支援ハウス

家族からの援助を受けることが困難等で、独立して生活することに不安のある高齢者に安心して健康で明るい生活を送れるように介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供する施設。

●成年後見制度

成年後見制度は精神上的の障がい（知的障がい、精神障がい、認知症など）により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度。

た行

●第1号被保険者

原則として市町村の区域内に住所を有する65歳以上の者は、介護保険の第1号被保険者となる。

●第2号被保険者

市町村の区域内に住所を有する40歳以上65歳未満の医療保険加入者は、介護保険の第2号被保険者となる。

●地域支援事業

介護給付・予防給付とは別に、被保険者が要介護状態になることを予防(介護予防)し、要介護状態等になった場合も住み慣れた地域でできるだけ自立した生活が送れるように市町村が実施する事業。

●地域包括支援センター

地域における総合的なマネジメントを行う中核的な機関で、次の3つの機能を担う。

- ①総合相談・権利擁護業務 ②介護予防マネジメント業務 ③包括的・継続的マネジメントの支援業務

●地域密着型サービス

要介護者の住み慣れた地域での生活を24時間体制で支えるという観点から、要介護者の日常生活圏域内にサービス提供の拠点が確保されるべきサービス。

●地域密着型介護予防サービス

要支援者に対して要介護状態の維持・改善を目的として、住み慣れた地域での生活を24時間体制で支えることを目的に行われるサービス。

●特定疾病

40歳以上65歳未満の者については、要介護状態となる原因が加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病（特定疾病）による場合に要介護者等と認定される。

な行

●日常生活圏域

住民が日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、公的介護施設等の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して定める区域。

●日常生活自立支援事業

認知症がある高齢者や知的障がい者・精神障がい者など自己決定能力の低下した方々を支援するため、民法の成年後見制度を補う仕組みとして制度化されたもの。

●認知症

脳血管疾患、アルツハイマー病その他の要因に基づく脳の器質的な変化により日常生活に支障が生じる程度にまで記憶能力及びその他の認知機能が低下した状態。

●認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門の職員などが集い、情報交換や相談、認知症の予防や症状の改善を旨とした活動などのできる場所。家族を対象とした勉強会や講習会なども行われており、孤立しがちな本人や家族と地域のつながりの場を提供。

●認知症キャラバン・メイト

認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務める者。所定のキャラバン・メイト研修の受講・登録が必要。

●認知症ケアパス

「認知症ケアパス」は「認知症の人の生活機能障害の進行に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けることができるのか」を認知症の人とその家族に提示するための資料。

●認知症サポーター

認知症サポーター養成講座の受講により、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けする応援者。

●認知症初期集中支援チーム

複数の専門職が、家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪

問しアセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行うチームをいう。

は行

●美深町介護予防・日常生活支援総合事業体制整備推進協議体

各地域におけるコーディネーターと生活支援・介護予防サービスの提供主体等が参画し、定期的な情報共有及び連携強化の場として、中核となるネットワーク。

●フレイル状態

高齢期に心身の機能が衰えた状態。しかし早い時期に運動等を行うことにより、健康な状態に引き戻すことが可能な身体状況。

●包括的支援事業

地域支援事業の1つで次の5つの事業のことをいう。

- ①総合相談支援・権利擁護業務
- ②包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- ③在宅医療・介護連携推進事業
- ④生活支援体制整備事業
- ⑤認知症総合支援事業

●保険給付

要介護者等が介護保険のサービスを利用した場合、保険者から事業者等へ支払われる9割分（所得の状況に応じて7割・8割の場合あり）の費用。

●保険料

市町村は、介護保険事業に要する費用に充てるために、第1号被保険者の保険料額を条例で定め徴収する。なお、第2号被保険者の保険料は医療保険者が徴収する。

や行

●要介護者

要介護者とは次の者をいう。

- ①要介護状態にある65歳以上の者
- ②要介護状態にある40歳以上65歳未満の者で、その原因である身体上や精神上的の障がいがある特定疾病により生じた者。

●要介護認定

介護給付を受けようとする被保険者が、要介護状態であるかどうか、及びその該当する要介護状態区分等（要介護度）について受ける市町村の認定。

●要支援者

要支援者とは次の者をいいます。

- ①要介護状態となるおそれのある状態にある65歳以上の者 ②要介護状態となるおそれのある状態にある40歳以上65歳未満の者で、その原因である身体上や精神上的の障がいが特定疾病により生じた者。

●要支援認定

予防給付を受けようとする被保険者が、要支援状態であるかどうかについて受ける市町村の認定。

●予防給付

被保険者の要支援状態に関する保険給付。

ら行

●理学療法士

身体に障がいのある人たちに運動療法、物理療法、マッサージ等で基本的動作能力の回復を図ったり、義肢や装具の適応訓練等を指導するリハビリテーション技術者。

3 計画策定経過

年 月 日	経 過
令和5年 8月 31日	第1回策定委員会
9月 19日	地域ケア会議
令和5年9月15日～ 令和5年10月13日	在宅介護実態調査、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
12月 19日	第2回策定委員会
12月 19日	地域ケア会議
令和6年 2月 1日	第3回策定委員会
2月 21日	第4回策定委員会
随 時	事務局打合せ（保健福祉グループ内検討）

4 策定委員会

14名の委員をもって策定委員会を設置し、各委員の立場から計画策定の協議及び意見を頂きました。

(1) 美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会委員

- ・委員長 本平 武士
- ・副委員長 十亀 和己

区分	氏名	職名
福祉関係	藤原 芳幸	社会福祉法人美深町社会福祉協議会 会長
	村田千江子	美深町民生委員協議会 高齢者部会委員
	細川 智義	社会福祉法人美深福祉会 美深町特別養護老人ホーム 施設長
	池本 春光	美深町老人クラブ連合会 副会長
保健医療関係	八木田真智子	美深町保健推進員協議会 会長
	中西 英樹	J A北海道厚生連美深厚生病院 事務長 介護保険運営協議会 委員
住民団体代表	本平 武士	美深町自治会連合会 会長
介護保険関係	十亀 和己	介護保険運営協議会 会長
	中西喜代美	介護保険運営協議会 委員
	世継 導子	介護保険運営協議会 委員
	瓜田 晃	介護保険運営協議会 委員
	嘉津山秀烈	介護保険運営協議会 委員
第1号被保険者代表	越智 茂信	公募
第2号被保険者代表	佐藤 郁子	公募

(2) 会議の開催状況

令和5年8月31日 第1回美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会

- 委員の委嘱
- 委員長、副委員長選任
- 第9期高齢者保健福祉等計画策定について
- 在宅介護実態調査、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施について

令和5年12月19日 第2回美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会

- 在宅介護実態調査、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について
- 第9期高齢者保健福祉等計画策定について
 - 介護サービス見込量等の推計について
 - 第1号介護保険料基準額の推計について

令和6年2月1日 第3回美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会

- 第9期高齢者保健福祉等計画（素案）について

令和6年2月21日 第4回美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会

- 第9期高齢者保健福祉等計画（最終案）について

美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 美深町における高齢者保健福祉施策の充実と介護保険事業の円滑な実施を確保することを目的として美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会を設置する。

(名称)

第2条 委員会の名称は、美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会（以下「委員会」という。）という。

(所掌事項)

第3条 委員会の所掌事項は、次の各号に掲げるものとする。

- (1)美深町高齢者保健福祉計画の策定に関する事
- (2)美深町介護保険事業計画の策定に関する事

(組織)

第4条 委員会は、委員15名以内で組織する。

2 委員は次の各号に掲げる者の内から町長が委嘱する。

- (1)福祉関係者
- (2)保健医療関係者
- (3)住民諸団体からの推薦による代表者
- (4)介護保険の被保険者で、公募に応じた者
- (5)介護保険運営協議会委員

3 委員の任期は、当該計画の成立をもって満了する。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

4 会議には、必要に応じ関係職員を出席させることができる。

（庶務）

第7条 委員会の庶務は、保健福祉課において処理する。

2 各計画の原案については、町長が任命した職員によって作成する。

（費用弁償）

第8条 委員の費用弁償は、特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償並びに臨時の委員等の実費弁償に関する条例（平成12年条例第39号）第5条を準用する。

（委任）

第9条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し、必要な事項は町長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年9月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

第9期
美深町高齢者保健福祉計画
美深町介護保険事業計画

令和6年3月

担当：美深町保健福祉課保健福祉グループ
〒098-2252 北海道中川郡美深町字西町18番地
TEL 01656(2)1683 FAX 01656(2)1626
Eメール：b-kaigo@town.bifuka.hokkaido.jp
